

2018

ペット総合科 シラバス



学校法人京都中央学院

YIC京都ペット総合専門学校

シラバスとは

シラバスとは講義概要であり授業全体の計画書のことです。授業の目標・内容・参考図書・成績評価の方法などが記され、皆さんが授業内や授業外で学修を行うための指針を示すものです。

教員は、この指針に従って授業を行うこととなります。したがってシラバスは授業計画を学生と教員との間で共有する、「契約書」に近い位置づけのものです。シラバスに記載された目標を達成するために、教員は授業を通して学生である皆さんに知識と技術を習得させる義務を負います。逆に皆さんは授業に出席する義務を負うこととなります。

また広い意味では、本校が地域社会に対して本校の教育の質を担保するものでもあります。

実際に授業が行われるにあたって、学生や教員があらかじめ準備したり、従うべき事項等を共有する文書となります。授業で行われる内容があらかじめ記載されていますので、学生は授業に臨む際に前もって準備を行うことができますし、記載されている評価方法に向けての学修などを行うこともできます。

シラバスを作成する過程で、教員が自らの行う授業の内容、評価方法などの具体的構造を見直すことができ、自分の授業を見直す良い機会になります。

皆さんは、このシラバスを活用して、悔いのない学生生活を送っていただくようお願いします。

ペット総合科 教育課程

区 分			履修科目名	1年		2年		合計		
				単位	時間	単位	時間	単位	時間	
必修科目	ペット基礎	講義	犬学・猫学	1	30			1	30	
			犬種・猫種学Ⅰ	1	30			1	30	
			小動物概論Ⅰ	1	30			1	30	
			水生動物Ⅰ	1	30			1	30	
			解剖学	1	30			1	30	
			公衆衛生Ⅰ	1	30			1	30	
			動物関連法規	1	30			1	30	
			グループミング基礎学	2	60			2	60	
			犬種別トリミング学Ⅰ	1	30			1	30	
			健康管理理学	1	30	1	30	1	30	
	基礎看護学	1	30			1	30			
	愛玩動物飼養管理学	2	60			2	60			
	動物行動学Ⅰ	1	30			1	30			
	小動物飼育学Ⅰ	1	30			1	30			
	家庭犬訓練Ⅰ	1	30			1	30			
	キャリア基礎	講義	パピーケアⅠ			1	30	1	30	
グループミング実習Ⅰ	9		270			9	270			
キャリアデザインⅠ	2		60			2	60			
実務研修Ⅰ				1	30	1	30			
			ビジネス・マナーⅠ	1	30			1	30	
			総合学習Ⅰ	2	60			2	60	
			ビジネス電話	1	30			1	30	
必修科目合計				31	930	3	90	34	1,020	
選択必修科目	トリマー分野	講義実習	美容Ⅰ	3	90			3	90	
			美容Ⅱ			18	540	18	540	
			犬種別トリミング学Ⅱ	1	30			2	60	
			トリマー演習			2	60	2	60	
			犬種別トリミング学Ⅲ			2	60	1	30	
	小計				4	120	22	660	26	780
	トレーナー分野	講義実習	訓練Ⅰ			4	120	4	120	
			訓練Ⅱ			4	120	4	120	
			家庭犬訓練Ⅱ	2	60			2	60	
			家庭犬訓練Ⅲ			4	120	4	120	
			パピーケアⅡ			2	60	2	60	
			ハンドリング			2	60	2	60	
			グループミングⅡ			6	180	6	180	
	愛犬飼育管理学	1	30			1	30			
	小計				3	90	22	660	25	750
	アドバイザー分野	講義実習	小動物概論Ⅱ			4	120	4	120	
			小動物販売士検定			2	60	2	60	
			水生動物Ⅱ	2	60			2	60	
			水生動物Ⅲ			4	120	4	120	
			動物行動学Ⅱ			2	60	2	60	
			小動物看護学			2	60	2	60	
			犬種・猫種学Ⅱ	1	30			1	30	
	愛犬飼育管理学	1	30			1	30			
	グループミングⅡ			6	180	6	180			
小計				4	120	20	600	24	720	
キャリア基礎分野	講義実習	キャリアデザインⅡ			2	60	2	60		
		基本IT技術Ⅰ			2	60	2	60		
		基本IT技術Ⅱ			2	60	2	60		
		総合学習Ⅱ			1	30	1	30		
小計				0	0	7	210	7	210	
(年度により開講しない場合がある) 選択科目	ペット総合分野	講義実習	ペットアロマ	1	30	1	30	2	60	
			ペット経営学	1	30	1	30	2	60	
			フードアドバイザー	1	30	1	30	2	60	
			小動物販売士	1	30	1	30	2	60	
			ホリスティック	1	30	1	30	2	60	
			アニマルヘルパー講座	1	30	1	30	2	60	
			損害保険学	1	30	1	30	2	60	
	愛玩動物飼養管理学特論	1	30	1	30	2	60			
	社会人基礎力分野	講義実習 実習 実習	実務研修Ⅱ	1	30	1	30	2	60	
			卒業研究	1	30	1	30	2	60	
			サービス接遇特論	1	30	1	30	2	60	
			ビジネス文章力	1	30	1	30	2	60	
			論理的思考力	1	30	1	30	2	60	
			ビジネス英語	1	30	1	30	2	60	
			イベントプロデュース	1	30	1	30	2	60	
			企業研究	1	30	1	30	2	60	
			ボランティア活動	2	60	2	60	4	120	
選択科目合計				18	540	18	540	36	1,080	
総計(必修+選択必修+選択)			トリマー分野	36	1,080	35	1,050	103	3,090	
			トレーナー分野	36	1,080	35	1,050	102	3,060	
			アドバイザー分野	36	1,080	34	1,020	101	3,030	

※選択科目は年度によって開講しない場合もある。

※総合学習Ⅰ・Ⅱは、宿泊研修やドッグショーなどの校外学習を対象とする。

※卒業の要件:必修科目1,020時間(34単位)、選択必修科目930時間(31単位)以上、及び選択科目30時間(1単位)を合わせて、計1,980時間(66単位)以上の履修。

平成30年度 シラバス

科目名	犬学・猫学		担当者	山田	学科	ペット総合科	開講期	前期
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日 時限	水(木) 1(2)
授業の概要	犬と猫の歴史・生態・習性や人との関係を覚える。							
学習目的	犬・猫本来の能力について覚える。							
学習目標	犬・猫の社会性・適応を学ぶことによって、動物に対しての人としての社会性も身につける。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	スタンダードとドッグ・ショー	ケネル・クラブ、犬種用途、血統書について					最新犬種図鑑	
第2回	グループ制	JKC第1～第10グループについて、犬種標準とは。					最新犬種図鑑	
第3回	イヌについて 家畜化の起源と歴史	イヌ学的重要性、犬種の多様な品種、進化について					イラストでみる犬学	
第4回	イヌの起源 野生のイヌ科動物の分類と分布	オオカミからイヌへ、世界の野生のイヌ科動物について					イラストでみる犬学	
第5回	食肉目としての特徴 ヒトとのかかわり	イヌ科動物の特性 ペット化の歩み、ヒトに与える心理的影響					イラストでみる犬学	
第6回	犬の習性・生態について	イヌ科動物の特性について					イラストでみる犬学	
第7回	形態の馴化現象	イヌの改良・新しい品種について					イラストでみる犬学	
第8回	ネコについて	ネコ学的重要性、猫種の多様な品種、進化について					猫の教科書	
第9回	ネコの起源 野生のネコ科動物の分類と分布	世界の野生のネコ科動物について					猫の教科書	
第10回	食肉目としての特徴 ヒトとのかかわり	ネコ科動物の特性 ペット化の歩み、ヒトに与える心理的影響					猫の教科書	
第11回	ネコの習性・生態について	ネコ科動物の特性について					猫の教科書	
第12回	形態の馴化現象 ネコのグルーミング方法	ネコの改良・新しい品種について ネコのお手入れ方法について					猫の教科書	
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習					試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験					単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説	
教科書	最新犬種図鑑、イラストでみる犬学、猫の教科書							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	犬種・猫種学 I		担当者	奥田	学科	ペット総合科	開講期	前期	
区分	ペット基礎	必須	単位	1	学年	1年次	曜日	水(木)	
	理論		(時間)	(30)			時限	1	
授業の概要	犬・猫種の各グループ別、原産国、歴史、サイズなどを覚える。(JKC登録数上位、人気犬種を対象)								
学習目的	犬種・猫種による習性や特徴を覚える。								
学習目標	犬・猫のスタンダードの知識習得し、適切なアドバイスができるようになる。								
授業計画									
回	主題		授業内容			備考			
第1回	犬種 第1グループ		シープドッグ&キャトルドッグ(スイス・キャトル・ドッグを除く) ボーダーコリー、コリー(ラフ)、ジャーマン・シェパード・ドッグ、 シェットランドシープドッグ、ウェルッシュコーギー(ペンブローク)			最新犬種図鑑			
第2回	犬種 第2グループ		ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種 スイス・マウンテン・ドッグ&スイスカトル・ドッグ、関連犬種 バーニーズマウンテンドッグ、ボクサー、ブルドッグ、ドーベルマン			最新犬種図鑑			
第3回	犬種 第2グループ		グレート・デーン、グレート・ピレニーズ、ミニチュア・ピンシャー、 セントバーナード、ロットワイラー			最新犬種図鑑			
第4回	犬種 第3・4グループ		テリア エアデールテリア、ジャクラッセルテリア、ミニチュアブルテリア ダックスフンド ダックスフンド(カニンヘン・ミニチュア・スタンダード)			最新犬種図鑑			
第5回	犬種 第5グループ		スピッツ&プリミティブ・タイプ 秋田、アメリカン・アキタ、チャウ・チャウ、日本スピッツ 柴、シベリアンハスキー			最新犬種図鑑			
第6回	犬種 第6グループ・第7グループ		セントハウンド&関連犬種 バゼット・ハウンド、ビーグル、ダルメシアン ポインティング・ドッグ アイリッシュセター、ワイマラナー			最新犬種図鑑			
第7回	犬種 第8グループ		レトリバー、フラッシング・ドッグ、ウォータードッグ フラットコートレトリバー ゴールデンレトリバー、ラブラドルレトリバー			最新犬種図鑑			
第8回	犬種 第9グループ		トイ&コンパニオンドッグ チワワ、ボストンテリア、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル、 狆、フレンチ・ブルドッグ、			最新犬種図鑑			
第9回	犬種 第10グループ		サイト・ハウンド アフガンハウンド、ホルゾイ、イタリヤングレーハウンド、サルーキー、ウィ ペット			最新犬種図鑑			
第10回	猫種 ①	アビシニアン、アメリカンカール、アメリカンショートヘアー、 ジャパニーズボブテイル、シャム					猫の教科書		
第11回	猫種 ②	シンガプーラ、スコティッシュフォールド、ソマリ、 ノルウェージャンフォレストキャット、ヒマヤラン、					猫の教科書		
第12回	猫種 ③	ベルシャ、ベンガル、マンチカン、メインクーン、ロシアンブルー					猫の教科書		
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習			試験範囲説明			
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験			単位認定試験			
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説			試験解説			
教科書	最新犬種図鑑、猫の教科書								
参考書									
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
履修の ポイント	出席率80%以上が前提となる								
オフィス ・アワー	随時								

平成30年度 シラバス

科目名	小動物概論 I		担当者	田邊	学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	ペット基礎理論	必須	単位(時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日 時限	木 4
授業の概要	犬・猫以外での動物の生態を学ぶことにより、エキゾチックアニマルと呼ばれる分野の知識を覚える。							
学習目的	幅広い動物の生態を学ぶことで、動物のスペシャリストになる。							
学習目標	愛玩動物飼養管理士の合格レベル、知識を覚える。 動物看護師試験の合格レベル、知識を覚える。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	生物の世界 動物の世界	生物の分類 種概念						
第2回	動物の分類	分類階級、属、学名 種の下の分類単位						
第3回	無脊椎動物の分類	節足、棘皮、軟体、刺胞、動物など						
第4回	昆虫の世界	不完全変態 完全変態						
第5回	動物の分布	旧北区～東洋区 エチオピア区、新北区、新熱帯区、オーストラリア区						
第6回	哺乳類(1)	単孔類、有袋類 有袋類～霊長目 牛海目、被甲目、有毛目 霊長目						
第7回	哺乳類(2)	ウサギ目、齧歯目① 齧歯目② トガリネズミ目						
第8回	哺乳類・鳥類	鯨偶蹄目① 鯨偶蹄目②、有鱗目 肉食目①ネコ科 肉食目②、イタチ科、クマ科 肉食目③、蹄脚類 奇蹄目、翼手目						
第9回	鳥類(1)	鳥類の概要 日本の野鳥、走鳥類 キジ目、カモ目						
第10回	鳥類(2)	ハト目、コウノトリ目、ペリカン目、ミズナギトリ目、インコ目、スズメ目						
第11回	爬虫類	概要 カメ目・有鱗目 ワニ目						
第12回	両生類・魚	概要						
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習					試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験					単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説	
教科書	緑書房出版「カラーアトラスエキゾチックアニマル哺乳類編・鳥類編」著							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	水生生物 I		担当者	細川	学科	ペット総合科	開講期	前期
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	月
							時限	1 (2)
授業の概要	アクアリウムの中でも一般的な鑑賞魚や水草を学び、熱帯魚や水草にとっての環境（光・酸素・二酸化炭素など）を覚える。							
学習目的	癒しやインテリアとして需要が多くなっているアクアリウムの基本を覚える。							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯魚の種類を覚える。 ・水生生物特有の病気についてを覚える。 ・日本原産の観賞魚と海外産の観賞魚の歴史についてを覚える。 							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	自己紹介 アクアリウム		自己紹介、授業の進め方 ペットとアクアリウム					
第2回	アクアリウムの語源		歴史・養魚から観賞魚へ					
第3回	魚の活動		生息環境と水 水合わせについて					
第4回	飼育方法、水槽について		水槽のサイクルとは、硬度と水温 飼育器具について 水槽・保温器具・照明器具・底床について					
第5回	観賞魚と食用魚		魚の外観と特徴・名称 体長と体高 観賞魚と食用魚の違い					
第6回	魚の臓器とその働き		皮膚と鱗 エラ 内臓器について					
第7回	魚の感覚器		色・形・距離・味覚・臭覚・振動・水流・水圧					
第8回	金魚について		金魚の種類と品種改良 飼育の歴史、日本での生産地					
第9回	錦鯉について		錦鯉の品種改良と歴史、選別と越冬 色揚げ・スピルリナ・鱗の優勢					
第10回	熱帯魚について（1） 魚の導入		コイの仲間 / 特徴・食性・繁殖・分布 ナマズとドジョウの仲間 / 特徴・食性・繁殖・分布 魚の導入、水合わせについて					
第11回	熱帯魚について（2）		カラシン目について ピラニア・テトラ・カラシン メダカの仲間 卵胎生魚性転換					
第12回	熱帯魚について（3）		シクリッドの仲間について 繁殖・分布・特徴 アナバス・汽水魚・古代魚について 戦魚・肺魚・乾眠					
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説	
教科書	観賞魚大図鑑							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修の ポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス ・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	解剖学		担当者	田中	学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	ペット基礎理論	必須	単位(時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日 時限	火 4
授業の概要	犬・猫を中心とした動物の体の仕組みを勉強し、肉食動物と草食動物、生活環境に適した生態毎の違いを覚える。 犬・猫を中心とした動物の体の構造、骨格筋系、呼吸器系・消化器系・循環器系・内分泌系・神経及び感覚器系の機能を理解し、肉食動物と草食動物、生活環境に適した生体毎の違いを覚える。							
学習目的	動物の体の仕組みを学ぶことで、飼育方法や病気などの他の分野の基礎を確実に答える。							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物飼養管理士の合格レベル、知識を覚える。 ・2年次の各コースの基礎となることを覚える。 							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	体のしくみ		体の成り立ち					
第2回	外皮系、骨格・筋肉		体を包むもの、体を支え動かす					
第3回	消化器系		栄養をとり入れる・消化液					
第4回	消化器系		食べ物の通り道・吸収された栄養分の使われ方					
第5回	呼吸器系		酸素を取り入れる・空気を体に運び込む					
第6回	心血管系		血液中を流れるもの、血液を送り出す					
第7回	リンパ組織		リンパ管					
第8回	腎臓・肝臓		老廃物の排出・人体の化学工場					
第9回	感覚器		視覚・聴覚・味覚・嗅覚					
第10回	神経系		神経の働き、中枢神経・末梢神経					
第11回	内分泌系		ホルモンの働き					
第12回	生殖器系		こどもを産み育てる					
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説	
教科書	愛玩動物飼養管理士教本							
参考書	認定看護教本							
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	公衆衛生		担当者	光野	学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	ペット基礎理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	火
							時限	3
授業の概要	動物とよりよい関係を築く為に必要な、感染症や消毒方法などの知識を覚える。							
学習目的	衛生上の危害や発生を防止する分野の基礎を覚える。							
学習目標	愛玩動物飼養管理士の合格レベルの知識を覚える。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	公衆衛生概論		公衆衛生とは					
第2回	人獣共通感染症（1）		狂犬病、インフルエンザ、猫ひっかき病、外傷性パズル症					
第3回	人獣共通感染症（2）		破傷風、トキソプラズマ症、レプトスピラ症、サルモネラ症					
第4回	人獣共通感染症（3）		オウム病、腸管出血性大腸菌感染症、カンピロバクター腸炎、ブルセラ症					
第5回	人獣共通感染症（4）		ヘリコバクター・ヒリ感染症、幼虫移行症、アニサキス症、エキノコックス症					
第6回	人獣共通感染症（5）		クリプトスポリジウム症、マダニの媒介するスーノシス、サルから感染するスーノシス					
第7回	人獣共通感染症（6）		ウサギから感染するスーノシス、小型ゲッ歯類から感染するスーノシス					
第8回	滅菌・消毒（1）		院内感染の危険性について					
第9回	滅菌・消毒（2）		滅菌方法について、消毒薬の種類					
第10回	動物防疫学（1）		動物の輸出入とは					
第11回	動物防疫学（2）		動物検疫の目的と方法について					
第12回	動物防疫学（3）		集団感染を防ぐ目的と方法について					
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説	
教科書	コンパニオンアニマルの新・健康管理学							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修の ポイント オフィス ・アワー	出席率80%以上が前提となる							

平成30年度 シラバス

科目名	動物関連法規		担当者	光野	学科	ペット総合科	開講期	前期
区分	ペット基礎 理論	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日 時限	月・木 4(3)
授業の概要	動物業界、動物医療の関連法規を覚える。							
学習目的	仕事をする上での法律を覚える。							
学習目標	愛玩動物飼養管理士の合格レベルの知識を覚える。 動物看護師試験の合格レベルの知識を覚える。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	狂犬病予防法		狂犬病について、法律の目的					
第2回	身体障害者補助犬法		補助犬の種類と国民の協力					
第3回	動物愛護の歴史		江戸から平成、虐待と遺棄					
第4回	動愛法(1)		目的、愛護週間、基本指針、個体識別					
第5回	動愛法(2)		動物取扱業、動物取扱責任者					
第6回	動愛法(3)		実験動物、産業動物					
第7回	動愛法(4)		特定動物、罰則					
第8回	外来生物法		外来生物の種類、外来生物の取り扱い					
第9回	ペットフード法		ペットフードの内容に関する概要					
第10回	ワシントン条約		種の保存、鳥獣法					
第11回	その他の関連法規(1)		獣医師法、麻薬取締法					
第12回	その他の関連法規(2)		個人情報保護法、労働基準、労働安全衛生					
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説	
教科書	愛玩動物飼養管理士教本							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	グルーミング基礎学		担当者	井田	学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	ペット基礎理論	必須	単位(時間)	2 (60)	学年	1年次	曜日 時限	火 1(2)
授業の概要	グルーミングの必要性と目的、効果。グルーミングを行う上での犬体の構造、獣医学、衛生と消毒、各種専門用語を覚える。							
学習目的	ビジネスとして仕事をしていくうえで、グルーマーとしてお客様に満足していただける技術や心構えを身につける。また、お客さまから信頼されるトリマーの知識を覚える。							
学習目標	1. グルーマーとしての技術と知識、心得 2. グルーミングの必要性、目的、効果 3. 犬の扱い 4. 道具の扱い方を熟知し、実技授業に活かす。							
授業計画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	道具の説明(1)		道具の説明、取り扱い<スリッカー・ブラシ、ピン・ブラシ、コーム>			トリマーの基礎知識教本 P42~47 ブラシ類、コーム		
第2回	ブラッシング・コーミングの演習 リボン作りの説明、材料等について		シート・ウィッグを使用しての練習			シートウィッグ、ブラシ類、コーム ラッピング用品		
第3回	道具の説明(2)		道具の説明、取り扱い<爪切り、カンシ> カンシを綿棒代用の演習			トリマーの基礎知識教本 P61~63 爪切り、カンシ、綿花		
第4回	道具の説明(3)		道具の説明、取り扱い<はさみ類、トリミング・ナイフ> はさみの保定方法(持ち方の練習)			トリマーの基礎知識教本 P48~55 ミニ・ハサミ		
第5回	シザーの種類と構造		ハサミの各部の名称、構造、種類 はさみの保定方法(持ち方の練習)			トリマーの基礎知識教本 P48~55 ミニ・ハサミ		
第6回	道具の説明(4)		道具の説明、取り扱い<クリッパー> クリッパーの作動確認、分解掃除方法演習			トリマーの基礎知識教本 P56~59 クリッパー、ブレイド、オイル		
第7回	衛生と消毒		器具や着衣などの衛生面と消毒方法			トリマーの基礎知識教本 P42~55 全美容道具		
第8回	道具の説明(5)		その他に道具について					
第9回	こんな時どうする?		事故を未然に防ぐために、トリミング前の異常と対処			トリマーの基礎知識教本 P22~23		
第10回	グルーマーの獣医学		グルーマーとして、病気の早期発見ができる			トリマーの基礎知識教本 P24~25		
第11回	犬のアクシデント		アクシデントが起こった場合の対処			トリマーの基礎知識教本 P28~29		
第12回	信頼されるトリマー		お客さまから信頼されるトリマーになるために必要なこと			トリマーの基礎知識教本 P30~32		
第13回	JKC各種ライセンスの説明 リボン作りの方法		JKCで取得可能なライセンス取得・更新・義務研修について 手作りリボンの制作方法を覚え、作れるようになる			リボン材料、プリント		
第14回	日常のケア		基本的なお手入れ方法について			トリマーの基礎知識教本 P64~67		
第15回	犬体用語(1)		犬体各部の専門用語 頭部、耳、鼻					
第16回	犬体用語(2)		犬体各部の専門用語 目、吻、頸					
第17回	犬体用語(3)		犬体各部の専門用語 胸、腰尻、肢					
第18回	犬体用語(4)		犬体各部の専門用語 肢勢、尾					
第19回	犬体用語(5)		犬体各部の専門用語 被毛					
第20回	犬体用語(6)		犬体各部の専門用語 毛色					
第21回	犬体用語(7)		犬体各部の専門用語 歩様					
第22回	グルーミング用語(1)		グルーミングに対する専門用語①					
第23回	グルーミング用語(2)		グルーミングに対する専門用語②					
第24回	グルーミング用語(3)		グルーミングに対する専門用語③					
第25回	グルーミング用語(4)		グルーミングに対する専門用語④					
第26回	シャンプー剤・リンス剤の役割		シャンプー・リンス剤の役割と汚れを落とす仕組み					
第27回	シャンプー・リンスの効果について		シャンプー剤、リンス剤の種類と効果					
第28回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習			試験範囲説明		
第29回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験			単位認定試験		
第30回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説			試験解説		
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング(トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	犬種別トリミング学Ⅰ		担当者	五郎畑	学科	ペット総合科	開講期	前期
区分	ペット基礎	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	火
	時限						1(2)	
授業の概要	犬種別のグルーミング方法。トリミングの基礎であるベーシックを学習。短毛犬種、中型犬種、大型犬種など、犬種別のグルーミングを覚える。							
学習目的	ブラッシング・爪切り・耳掃除など基本的技術と知識を身につけ、多くの犬種のベーシックができるようになる。							
学習目標	多くの犬種のベーシックが確実にできるようになる。 全コースの学生が簡単なトリミング（無駄毛のカット）ができる。							
授業計画								
回	主題		授業内容			備考		
第1回	自己紹介・授業前アンケート 授業開始について グルーミングの必要性		この授業の必要性 なぜ、手入れが必要か？ トリマー（グルーマー）の心得とは？			トリマーの基礎知識 P.34～35		
第2回	トリマーの心得		トリマーが心得ておかなければならないこと			トリマーの基礎知識 P.34～35		
第3回	犬の体のつくり 犬体名称 断尾・断耳について		グルーミングを行う上で必要な体温・脈拍・呼吸数を覚える 犬の主な犬体部位名称			トリマーの基礎知識 P.8～11		
第4回	骨格名称、美容的名称 モデル犬の取り扱い方①		骨格・美容的な名称 モデル犬の正しい取り扱い方法・留意点を覚える			トリマーの基礎知識 P.12～13、 P.37～39		
第5回	モデル犬の取り扱い方②		モデル犬の正しい取り扱い方法・留意点を覚える オス・メス、幼齢犬・高齢犬の取り扱い方 アームを使用するにあたっての注意事項			トリマーの基礎知識 P.40～41		
第6回	被毛と皮膚、耳の構造、 歯列・咬合について		犬の被毛・皮膚の構造、耳の構造、歯列・咬合を覚える			トリマーの基礎知識 P.17～21		
第7回	ポメラニアンの基本トリミング（1）		スタンダード解説 足回り、耳先、お尻周りのカット			最新犬種図鑑		
第8回	ポメラニアンの基本トリミング（2）		アンダー・ライン、尾軸の付け根、パンティー・フェザーのカット					
第9回	プードル犬種のトリミング方法（1）		スタンダード解説 ベーシック・クリップ（顔部）			最新犬種図鑑		
第10回	プードル犬種のトリミング方法（2）		ベーシック・クリップ（足先、下腹部、尾軸）					
第11回	プードル犬種のトリミング方法（3）		ベーシック・クリップ（Vネック・Uネック）					
第12回	プードル犬種のトリミング方法（4）		ベーシック・クリップ（尾軸・肛門周囲）					
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習			試験範囲説明		
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験			単位認定試験		
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説			試験解説		
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング（トリマーの基礎知識）、最新犬種図鑑							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	健康管理学		担当者	田中	学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	ペット基礎	必須	単位	1	学年	2年次	曜日	月・水・金
	理論		(時間)	(30)			時限	2
授業の概要	犬・猫の病気について、各コース共通に必要な知識を覚える。							
学習目的	犬・猫の病気について学び知識を身につける。							
学習目標	ペットオーナーに説明教育出来るように知識を増やし、的確な助言ができる。							
授業計画								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	犬の病気(1)	角膜の病気、緑内障・白内障・網膜の病気 血液の病気・血液組織・免疫						
第2回	犬の病気(2)	貧血・貧血の種類・血尿 心臓の働き、先天性疾患・後天性心臓病、フィラリア症・心筋症						
第3回	犬の病気(3)	鼻炎、呼吸器の病気 口腔内疾患						
第4回	犬の病気(4)	消化器の病気、胃・小腸・大腸・肛門・肝臓						
第5回	犬の病気(5)	血液・内分泌・代謝・肝臓・膵臓・腎不全、泌尿器の病気						
第6回	犬の病気(6)	尿路感染症・排尿障害・多飲多尿・糖尿病 内分泌の病気						
第7回	犬の病気(7)	生殖器の病気 耳の病気・皮膚病						
第8回	犬の病気(8)	神経の病気						
第9回	猫の病気(1)	循環器系疾患・呼吸器系疾患 口腔内疾患・消化器疾患						
第10回	猫の病気(2)	腎臓・泌尿器系疾患 内分泌・生殖器系疾患						
第11回	猫の病気(3)	耳の病気・皮膚病 骨の病気・脳・脊髄の病気						
第12回	猫(犬)の病気	腫瘍・(犬猫の)誤飲						
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習					試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験					単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説	
教科書	わかる犬の病気							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	基礎看護学		担当者	北村	学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	ペット基礎理論	必須	単位(時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	月(木)
							時限	3 (2)
授業の概要	動物関係の仕事に就く上で犬・猫の必要最低限の看護知識を覚える。							
学習目的	必要最低限の看護知識・応急処置法を身につける。							
学習目標	動物が緊急事態に陥った時に最低限の応急処置が行える。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	この授業について バイタルサイン①	この授業の進み方 バイタルサインとは 【 T (体温) P (脈拍) 】						
第2回	バイタルサイン②	バイタルサインとは 【 R (呼吸) 】						
第3回	バイタルサイン③	バイタルサイン (CRT・粘膜色)						
第4回	応急処置対応①	心肺蘇生 A (気道確保) B (人工呼吸) C (循環)						
第5回	応急処置対応②	交通事故						
第6回	応急処置対応③	輸送について 創傷の種類と手当て						
第7回	応急処置対応④	止血方法・骨折の種類と手当て						
第8回	応急処置対応⑤	ショック・ケイレン発作、眼球突出、熱中症の手当て						
第9回	予防医学①	ワクチンについて① (犬)						
第10回	予防医学②	ワクチンについて② (狂犬病・猫)						
第11回	予防医学③	フィラリア・ノミ・マダニについて						
第12回	予防医学④	避妊手術・去勢手術						
第13回	予防医学⑤	日常のケアで防げる疾病・ケガ					試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験					単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説	
教科書	コンパニオンアニマルの新・健康管理学							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	愛玩動物飼養管理学		担当者	光野	学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	ペット基礎	必須	単位	2	学年	1年次	曜日	月(木)
	理論		(時間)	(60)			時限	4
授業の概要	愛玩動物飼養管理士試験【2級】に関連する内容を覚える。							
学習目的	愛玩動物飼養管理士2級の合格レベル、知識を覚える。							
学習目標	愛玩動物飼養管理士2級に合格する。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	愛玩動物飼養管理士学(1)	愛玩動物使用管理士の社会活動						
第2回	愛玩動物飼養管理士学(2)	動物愛護論 I ①						
第3回	愛玩動物飼養管理士学(3)	動物愛護論 I ②						
第4回	愛玩動物飼養管理士学(4)	人と動物の関係学 ①						
第5回	愛玩動物飼養管理士学(5)	人と動物の関係学 ②						
第6回	愛玩動物飼養管理士学(6)	動物関係法令概要 I ①						
第7回	愛玩動物飼養管理士学(7)	動物関係法令概要 I ②						
第8回	愛玩動物飼養管理士学(8)	動物関係法令概要 I ③						
第9回	愛玩動物飼養管理士学(9)	動物関係法令概要 II ①						
第10回	愛玩動物飼養管理士学(10)	動物関係法令概要 II ②						
第11回	愛玩動物飼養管理士学(11)	動物関係法令概要 II ③						
第12回	愛玩動物飼養管理士学(12)	動物の飼養管理 I ①						
第13回	愛玩動物飼養管理士学(13)	動物の飼養管理 I ②						
第14回	愛玩動物飼養管理士学(14)	動物の飼養管理 I ③						
第15回	愛玩動物飼養管理士学(15)	動物の飼養管理 II ①						
第16回	愛玩動物飼養管理士学(16)	動物の飼養管理 II ②						
第17回	愛玩動物飼養管理士学(17)	動物の飼養管理 II ③						
第18回	愛玩動物飼養管理士学(18)	動物のしつけ ①						
第19回	愛玩動物飼養管理士学(19)	動物のしつけ ②						
第20回	愛玩動物飼養管理士学(20)	総復習 試験対策 ①						
第21回	愛玩動物飼養管理士学(21)	総復習 試験対策 ②						
第22回	愛玩動物飼養管理士学(22)	総復習 試験対策 ③						
第23回	愛玩動物飼養管理士学(23)	総復習 試験対策 ④						
第24回	栄養学の基礎知識 5大栄養素(1)	水・エネルギー・脂質						
第25回	5大栄養素(2)	ビタミン・ミネラル						
第26回	5大栄養素(3)	タンパク質・炭水化物						
第27回	栄養状態の評価法	総エネルギー、可消化エネルギー、代謝エネルギー、基礎エネルギー要求量、安静時エネルギー要求量、維持エネルギー要求量、1日エネルギー要求量、水分要求量						
第28回	ペットフード(1)	フードの種類、ライフステージ、						
第29回	ペットフード(2)	ライフステージ						
第30回	ペットフード(3)	与えてはいけない食べ物						
教科書	愛玩動物飼養管理士【2級】教本 第1・2巻							
参考書								
成績評価	各項目では、理解力テストを行う。 単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 理解力テスト点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	愛玩動物飼養管理士資格試験受験後につき、学年末試験はなし							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	動物行動学 I		担当者	光野	学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	ペット基礎	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	月(水) (木)
	理論						時限	1 (2) (3)
授業の概要	犬・猫種による行動の異なりから、成長段階にみられる行動を覚える。							
学習目的	それぞれの対応を学び、固体における基本的な行動の意義・機序を理解し飼い主指導に活かす。							
学習目標	行動をそれぞれの分類に分けて考えることで、問題行動についてのしつけを理解し、適正飼養と人と動物の共存に寄与することができる。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	行動学の歴史(1)	メンデル、ダーウィン、ファーブル他						
第2回	行動学の歴史(2)	パブロフ条件とレスポデント						
第3回	行動学の歴史(3)	反射と走性						
第4回	行動学の歴史(4)	犬種分け						
第5回	行動生態(1)	遺伝要因						
第6回	行動生態(2)	後天性学習						
第7回	行動生態(3)	社会行動						
第8回	行動生態(4)	機能分類①						
第9回	行動生態(5)	機能分類②						
第10回	行動生態(6)	機能分類③						
第11回	行動学的問題行動(1)	推測と予想						
第12回	行動学的問題行動(2)	目的と行動						
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習					試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験					単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説	
教科書	適宜テキストを配布							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	小動物飼育学		担当者	北村	学科	ペット総合科	開講期	前期
区分	専門科目	選択	単位 (時間)	1 30	学年	1年	曜日	火(木)
				時限			2(3)	
授業の概要	生態や習性の違う動物たちを飼育する時に気を付けないといけないことを学ぶ。 また、その動物についてを理解した上で、飼育動物の生活の質(QOL)の向上を考えることができるようになる。							
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に飼育されている小動物たちの、適正とされる飼育ができるようになる。 ・主体性を持って、自らがその動物のことを考え、飼育環境改善を行うことができる。 							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本校での小動物飼育について学ぶ。 <ol style="list-style-type: none"> ①食性の違いを説明できる。 ②一般的に知られている愛玩動物(小動物)を適正な飼育方法で飼育できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギ、ハムスター、モルモット、チンチラ ・フェレット、ハリネズミ ・小鳥(セキセイインコ等) 2. 飼育での注意点を知る。 3. 学校飼育動物のQOLの向上を図る。 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 目 標					備 考	
第1回	小動物飼育実習概論	この授業の目的を知り、飼育に活かす。					この授業の流れについての説明	
第2回	小動物(エキゾチックアニマル)とは?	小動物(エキゾチックアニマル)とはどのような動物をいうか説明できる。						
第3回	本校における小動物飼育の流れ 飼育時の注意点	本校の小動物飼育の流れ・注意点を知り、それを守りながら飼育ができる。						
第4回	ウサギの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のウサギの生態・習性を知り、本校におけるウサギの飼育方法を守って飼育ができる。						
第5回	ハムスターの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のハムスターの生態・習性を知り、本校におけるハムスターの飼育方法を守って飼育ができる。						
第6回	モルモットの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のモルモットの生態・習性を知り、本校におけるモルモットの飼育方法を守って飼育ができる。						
第7回	チンチラの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のチンチラの生態・習性を知り、本校におけるチンチラの飼育方法を守って飼育ができる。						
第8回	フェレットの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のフェレットの生態・習性を知り、本校におけるフェレットの飼育方法を守って飼育ができる。						
第9回	ハリネズミの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のハリネズミの生態・習性を知り、本校におけるハリネズミの飼育方法を守って飼育ができる。						
第10回	セキセイインコの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のセキセイインコの生態・習性を知り、本校におけるセキセイインコの飼育方法を守って飼育ができる。						
第11回	ネコの飼育方法	飼育するにあたり、必要最低限のネコの生態・習性を知り、本校におけるネコの飼育方法を守って飼育ができる。						
第12回	終生飼育を考える① 《グループワーク》	この授業を受けて、考えたこと感じたことをグループ単位で意見交換し、今後の動物飼育に活かすことができる。						
第13回	終生飼育を考える② 《グループワーク》	前回の授業にて、グループ内でまとめた意見をクラス単位で発表し、今後の動物飼育に活かすことができる。						
第14回	前期振り返り／前期末試験	前期振り返り後、前期末試験(筆記試験)(50分)					学生証提示必須	
第15回	試験振り返り(解説)	試験問題解説						
教科書	適宜テキスト配布							
参考書	緑書房出版「カラーアトラスエキゾチックアニマル哺乳類編・鳥類編」著							
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	家庭犬訓練Ⅰ		担当者	小泉	学科	ペット総合科	開講期	前期
区分	ペット基礎	必須	単位	1	学年	1年次	曜日	木
	実習		(時間)	(30)			時限	1(2)
授業の概要	犬とのふれ合いから、基本となる訓練方法を覚える。							
学習目的	犬のコントロール方法を覚える。							
学習目標	病院、ショップで必要な訓練の実践ができる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	授業の進め方 初対面のワンちゃんとの接し方		モデル犬との接し方、実習中の注意事項（事故予防）、授業・成績について初めて会う犬との接し方を覚える					
第2回	訓練からみた犬の起源 基本的な用具の取り扱い方		訓練からみた犬の起源（家畜化・共生・進化）、リードの扱い方とカラーの選び方、補助犬との訓練の違い、ケージへの出し入れ方法を覚える					
第3回	訓練からみた犬の歴史 アイコンタクト（1）		訓練からみた犬の家畜化・共生・進化について Yesの使い方、アイコンタクト（ステップ1）を覚える					
第4回	選択交配 アイコンタクト（2）		人間社会に奉仕・貢献する犬 アイコンタクト（ステップ2、3）を覚える					
第5回	犬の学習（1）		観察による学習、古典的条件づけ、ルアートレーニング 声符について、ワーク・アップ					
第6回	犬の学習（2）		道具的条件づけについて 視符、体符について、サイド・ポジションの方法を覚える					
第7回	犬の学習（3）		強化スケジュール、反応形成、消去 リードの扱い方、ヒール					
第8回	犬の感覚（1）		嗅覚について ダウン、スタンド					
第9回	犬の感覚（2）		視覚について ウェイト、カム					
第10回	犬の感覚（3）		聴覚・味覚について ドアの出入り練習					
第11回	犬の感覚（4）		触覚について 歩様について、実技テスト					
第12回	犬の先天的な能力（1）		固定行動パターン ディレクション・ゲーム①、実技テスト					
第13回	犬の先天的な能力（2）		ボディー・ランゲージ、カーミングシグナル ディレクション・ゲーム②、実技テスト			試験範囲説明		
第14回	復習、試験実施		復習、試験実施 ディレクション・ゲーム③、実技テスト			単位認定試験		
第15回	授業を終えて		試験の解説 オモチャを使つての遊び方			試験解説		
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修の ポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス ・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	パピーケアー I		担当者	伊勢村	学科	ペット総合科	開講期	前期
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	4 (120)	学年	2年次	曜日	金
			時限				1, (2, 3)	
授業の概要	生後1ヵ月から1歳になるまでのしつけ・栄養・健康・飼い主との家族関係を覚え、アドバイスができる。							
学習目的	生後1ヵ月から1歳になるまでの基礎知識を覚える。							
学習目標	総合的視野から犬の成長に必要な基礎知識を覚える。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	自己紹介 授業を始める前に		自己紹介、授業の進め方					
第2回	ケアー		子犬の選び方、接し方、迎える準備					
第3回	仔犬と学ぶ		仔犬の叱り方、ほめ方、子犬と人の手の関係					
第4回	コマンドの確認(1)		アイコンタクト、タイミングの確認					
第5回	コマンドの確認(2)		コマンドの確認(マズル・コントロール、シャドーイング)					
第6回	チェック方法について		犬体チェック方法 社会科見学			課外授業		
第7回	幼年期(1)		リード・カラーの使い方					
第8回	幼年期(2)		散歩の方法					
第9回	実技(1)		実習トレーニング導入					
第10回	実技(2)		オビディエンス(パピー・スクールについて)					
第11回	実技(3)		オペラントの条件づけ					
第12回	実技(4)		おいで・まで					
第13回	実技(5)・復習		ふせ・ヒール・スタンド					
第14回	試験		実技試験			単位認定試験		
第15回	試験の振り返り、まとめ		試験解答、復習			試験解説		
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	グルーミング実習 I		担当者	五郎畑・井田・小林・山田・奥田・岩井・小倉・小山・生田・高浪・谷奥	学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	9 (270)	学年	1年次	曜日 時限	水・金 2～4
授業の概要	基本的なグルーミング技術を覚える。							
学習目的	基本的なグルーミング方法を身に付ける。							
学習目標	基本グルーミング・ベーシッククリッピング技術の習得し、目標時間内に仕上げる。							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	自己紹介 美容用具の配布・確認 美容実習室の設備・備品について		自己紹介（氏名・志望選択コース・飼養動物種のリサーチ） 美容用具の配布と種類の確認 美容実習室内の設備・備品・シャンプー・リンス剤の希釈等についての注意事項					
第2回	美容実習授業の一日の流れ 美容実習授業時の注意点		実習時の服装・態度・準備物・注意事項を覚え、実習授業時の一日の流れを覚える					
第3回	ドッグ・ショーについて、 研修の事前学習		J K C ドッグ・ショーの進行方法・審査方法、見学研修前に事前学習、トーナメント方式、年齢別クラス区分、マナー等、美容実習室内の設備使用について					
第4回	モデル・グルーミング 実技 短毛種（1）		ベーシック実習のモデルグルーミング チワワ（4頭…2教室に分かれる）教員仕上げ チワワ（スムース・ヘッド）、学生2名で1頭仕上げ					
第5回	実技 中毛種（1）		チワワ（ロング・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ					
第6回	実技 その他の短毛種（1）		柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（3頭）					
第7回	実技 短毛種（2）		チワワ（スムース・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（3頭）					
第8回	実技 中毛種（2）		チワワ（ロング・ヘッド）、ダックスフンド（ロング・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（5頭）					
第9回	実技 その他の中毛種（1）		ペキニーズ、狎、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（5頭）					
第10回	実技 その他の中毛種（1） 大型犬		フラット・コーテッド・レトリバー、ゴールデン・レトリバー、 シェットランド・シープドッグ、ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（5頭）					
第11回	実技 短毛種（3）		チワワ（スムース・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（8頭）					
第12回	実技 中毛種（3）		チワワ（ロング・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（8頭）					
第13回	実技 その他の短毛種（2）		柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（8頭）				確認テスト	
第14回	実技 短毛種（4）		チワワ（スムース・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（10頭）				確認テスト	
第15回	実技 中毛種（4）		チワワ（ロング・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（10頭）					
第16回	実技 その他の中毛種（2）		ペキニーズ、狎、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（10頭） 【トリマーコース】レックスドッグ（シーズータイプ）のブラッシング①					
第17回	実技 その他の中毛種（2） 大型犬		フラット・コーテッド・レトリバー、ゴールデン・レトリバー、 シェットランド・シープドッグ、ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（10頭） 【トリマーコース】レックスドッグ（シーズータイプ）のブラッシング②					
第18回	実技 短毛種（5）		チワワ（スムース・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（15頭） 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー（サマーカット） 学生2名で1頭仕上げ（3頭）					
第19回	実技 中毛種（5）		チワワ（ロング・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（15頭） 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー（サマーカット） 学生2名で1頭仕上げ（3頭）					
第20回	実技 その他の短毛種（3）		柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（15頭） 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー（サマーカット） 学生2名で1頭仕上げ（3頭）					
第21回	紙粘土細工（1） 実技 短毛種（6）		マルチーズのサマーカットを紙粘土で形作る チワワ（スムース・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（20頭） 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー（サマーカット） 学生2名で1頭仕上げ（3頭）					
第22回	実技 中毛種（6）		チワワ（ロング・ヘッド）・ダックスフンド（ロング・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（20頭） 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー（サマーカット） 学生2名で1頭仕上げ（3頭）					
第23回	実技 その他の中毛種（3） レックスドッグ演習（1）		ボメラニオン（耳ま、目回り、第1脚節の裏側、尾の付け根、後脚、アンダーライン） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（10頭） 【トリマーコース】レックスドッグ（シーズータイプ）でサマーカットを形作る（右半分）					
第24回	実技 短毛種（7）		チワワ（スムース・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（15頭） 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー（サマーカット） 学生2名で1頭仕上げ（3頭）					
第25回	実技 中毛種（7）		チワワ（ロング・ヘッド）・ダックスフンド（ロング・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（15頭） 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー（サマーカット） 学生2名で1頭仕上げ（5頭）					
第26回	実技 その他の中毛種（3） 大型犬		フラット・コーテッド・レトリバー、ゴールデン・レトリバー、 シェットランド・シープドッグ、ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（10頭） 【トリマーコース】マルチーズ、シーズー（サマーカット） 学生2名で1頭仕上げ（5頭）					
第27回	実技 中・短毛種（8）		チワワ（スムース・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭（チワワ・ダックス・パピヨン・ボメ等）仕上げテスト（19頭）				実技テスト（1）	
第28回	実技 中・短毛種（9）		チワワ（スムース・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭（チワワ・ダックス・パピヨン・ボメ等）仕上げテスト（19頭）				実技テスト（2）	
第29回	実技 中・短毛種（10）		チワワ（スムース・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭（チワワ・ダックス・パピヨン・ボメ等）仕上げテスト（19頭）				実技テスト（3）	
第30回	実技 中・短毛種（11）		チワワ（スムース・ヘッド） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭（チワワ・ダックス・パピヨン・ボメ等）仕上げテスト（19頭）				実技テスト（4）	
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング（トリマーの基礎知識）、最新犬種図鑑							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時 注）当日のモデル犬種により、授業内容が変更する場合があります。							

平成30年度 シラバス

科目名	キャリアデザインⅠ (ロングホームルーム)		担当者	担任	学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	キャリア基礎 理論	必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	1年次	曜日 時限	金 1
授業の概要	就職活動に実践で活用できる内容を覚える。							
学習目的	就職内定100%							
学習目標	就職活動に関する必要な知識を覚え、個々の就労意識を高め、就職活動に役立てる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	ロングホームルーム(1)		年間行事予定確認、その他諸々の連絡事項、YICグループウェア入力				担任	
第2回	ロングホームルーム(2)		クラス交流、各種連絡事項				担任	
第3回	ロングホームルーム(3)		ドッグショーの基礎知識と課題作成方法				担任	
第4回	ロングホームルーム(4)		ドッグショー課題提出とグループワーク発表				担任	
第5回	就活NAVIノートの活用(1)		自己分析Ⅰ				CS室&担任	
第6回	就活NAVIノートの活用(2)		自己分析Ⅱ				CS室&担任	
第7回	就活NAVIノートの活用(3)		自己分析Ⅲ				CS室&担任	
第8回	宿泊研修について(1)		宿泊研修に伴う連絡・注意事項、グループ分け				担任	
第9回	社会人基礎学(1)		キャリア実践コミュニケーション インTRODクシヨン				担任	
第10回	社会人基礎学(2)		キャリア実践コミュニケーション 第1章				担任	
第11回	宿泊研修について(2)		宿泊研修に伴う課題提出及びグループワーク発表				担任	
第12回	社会人基礎学(3)		ビジネスコミュニケーションの基礎スキル 第1章 1・2				担任	
第13回	社会人基礎学(4)		ビジネスコミュニケーションの基礎スキル 第1章 3・4				担任	
第14回	ロングホームルーム(5)		前期試験対策自習				担任	
第15回	社会人基礎学(5)		ビジネスコミュニケーションの基礎スキル 第1章 5・6				担任	
第16回	就活NAVIノートの活用(4)		自己分析Ⅳ				CS室&担任	
第17回	就活NAVIノートの活用(5)		自己分析Ⅴ				CS室&担任	
第18回	就活NAVIノートの活用(6)		自己分析Ⅵ				CS室&担任	
第19回	ロングホームルーム(6)		ほりかわ祭準備に向けて				担任	
第20回	社会人基礎学(6)		キャリア実践コミュニケーション インTRODクシヨン 第1章				担任	
第21回	ロングホームルーム(7)		ドッグショーの基礎知識と課題作成方法				担任	
第22回	ロングホームルーム(8)		ドッグショー課題提出とグループワーク発表				担任	
第23回	ロングホームルーム(9)		愛玩動物飼養管理士試験対策自習				担任	
第24回	社会人基礎学(7)		キャリア課題発表				担任	
第25回	社会人基礎学(8)		履歴書の書き方				CS室&担任	
第26回	社会人基礎学(9)		面接の流れ				CS室&担任	
第27回	社会人基礎学(10)		求人票の見方				CS室&担任	
第28回	社会人基礎学(11)		1年の総括と単位認定試験対策自習				教務課長&担任	
第29回	ロングホームルーム(10)		単位認定試験対策自習				担任	
第30回	ロングホームルーム(11)		環境整備、ロッカー返却準備				担任	
教科書	就職NAVIノート、実践!キャリア・コミュニケーション							
参考書								
成績評価	単位認定 出席率 80%以上と課題提出をもって、合否判定を行う							
履修のポイント	コミュニケーション力を最重要とする							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	実務研修 I		担当者		学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	キャリア基礎	必修	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年	曜日	
	理論			時限				
授業の概要	実際のペットショップ・動物病院に勤務を体験（研修）し、これを通して、専門知識を実社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要かを考える能力を身に付けるとともに就職に繋げる。							
学習目的	(1) 就職を考えさせ早期就職内定へ繋げる。 (2) ペット業界での自分の適性や仕事の内容について自己分析する。 (3) ペット業界への関心・就職への意欲を高め、日々の学校生活に対する意欲を高める。							
学習目標	1. ペットショップ・動物病院の実践的経験 2. 職業意識の育成 3. いろいろな人の持つ考え方や行動に触れることにより、学生としてではなく、社会人としてのマナーや責任感を身につけることができる。実践的な経験により、自主的に行動ができる人材を育成する。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	8月（1年）	サロン訪問						
第2回	9月上旬（1年）	インターンシップについての目的について確認						
第3回	10月上旬（1年）	ペットショップ・動物病院研究インターンシップ先希望先を提出						
第4回	10月中旬（2年）	インターンシップ先の誓約書記入・事前連絡・インターンシップ受け入れについてのお願い・依頼の電話連絡を入れる						
第5回～8回	10月中旬（3年）	学生インターンシップ・ペットショップ・動物病院訪問・実務記録を提出する						
第9回	3月（2年）	ペットショップ・動物病院訪問						
第10回	4月上旬（2年）	ペットショップ・動物病院研究インターンシップ先の希望調査書を提出、インターンシップ先誓約書に記入・事前連絡を入れる						
第11回	5月上旬（2年）	インターンシップについての目的確認・インターンシップ受け入れについてのお願いをする。						
第12回～15回	5月中旬（2年）	インターンシップ先のペットショップ・動物病院等訪問実務記録を提出する						
教科書								
参考書								
成績評価	出席100%が前提となる 出席時間不足のための補習は行わず、欠席・時間不足者については振替登校日に課題等をさせる。							
履修のポイント	単位認定 60点以上 就業報告書・実務記録・課題等の提出							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネス・マナー		担当者	金森	学科	ペット総合科	開講期	前期
区分	キャリア基礎	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	月
	理論						時限	2(3)
授業の概要	接客対応の基礎 『心づかい』『言葉づかい』などの実務知識を覚える。							
学習目的	基本的な接客マナーを身に付け、多方面からのスキルを覚える。							
学習目標	サービス接客検定3級合格							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	サービス接客 接客とは何か		サービスの意味、接客とは何かを覚える 効果的な自己紹介の仕方ができる					
第2回	サービススタッフの資質(1)		必要とされる要件 明るさと誠実さ・適切な判断と表現・身だしなみについてを覚える					
第3回	サービススタッフの資質(2)		従業要件 良識をもつ、適切な判断と表現、清潔感についてを覚える					
第4回	専門知識(1)		サービス知識 サービスの意義・機能・種類を覚える					
第5回	専門知識(2)		従業知識 商業用語・経済用語を覚える					
第6回	一般知識		社会常識を覚える 時事問題を知る					
第7回	対人技能(1)		一般的な人間関係を築く					
第8回	対人技能(2)		接客知識、対人心理が理解できる 接客者としてのマナーを心得る					
第9回	対人技能(3)		話し方、接客用語を覚える 提示・説明の仕方を覚える					
第10回	対人技能(4)		服装 接客者としての適切な服装を装う					
第11回	実務技能(1)		問題処理・環境整備についてを覚える					
第12回	実務技能(2)		金品管理・社交儀礼の業務ができる					
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施		サービス接客検定合格のポイント、受験				単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説	
教科書	適宜テキストを配布							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	総合学習 I		担当者		学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	キャリア基礎	必須	単位	2	学年	1年次	曜日	
	理論		(時間)	(60)			時限	
授業の概要	普段、学内では体験できない事を、外部の施設・イベントに参加をする。							
学習目的	外部の施設・イベントに参加をし、専門職者としての技術と人間力を高める。							
学習目標	① 普段扱わない生き物の管理を行う。 ② 実社会に触れることによって、学習意欲が向上する。 ③ 集団行動を身につける。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	宿泊体験研修	動物園・水族館等の施設で普段扱うことが出来ない生き物を対象に実習を行う。						
第2回								
第3回								
第4回								
第5回	校外学習	JKCドックショー、動物感謝デー、盲導犬センター、インターナショナルドックショー等のイベントに参加、または研修を行い、学内では体験できない事を行う。						
第6回								
第7回								
第8回								
教科書								
参考書								
成績評価	出席100%が前提となる 出席時間不足のための補習は行わず、欠席・時間不足者については振替登校日に課題等をさせる。							
履修のポイント	単位認定 60点以上 実務記録・課題の提出							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネス電話		担当者	金森	学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	キャリア基礎	必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日	月
	理論			時限			2(3)	
授業の概要	第1～3回授業については、サービス接客検定に向けての継続授業。接客対応の基礎 『電話対応』の実務知識を覚える。							
学習目的	第1～3回授業については、サービス接客検定に向けての継続授業。基本的な電話対応マナーを身に付け、多方面からのスキルを覚える。							
学習目標	第1～3回授業については、サービス接客検定に向けての継続授業。社会人としてのルール・マナーに則り、店舗・企業への勤務時での電話対応ができる							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	サービス接客検定に向けて(1)		サービス接客検定過去問 実践・解答・解説①			前期授業の続き		
第2回	サービス接客検定に向けて(2)		サービス接客検定過去問 実践・解答・解説②			前期授業の続き		
第3回	サービス接客検定に向けて(3)		サービス接客検定過去問 実践・解答・解説③			前期授業の続き		
第4回	社会人としての話し方		社会人としての話し方、PREP法と時系列法でスピーチ実践					
第5回	好印象なスピーチ		感じの良い話し方の講義、スピーチの実践					
第6回	話し方の基本		テキストにて話し方の基本を学習、5年・10年後の自分について発表					
第7回	葬儀のマナー(1)		葬儀の知識					
第8回	葬儀のマナー(2)		葬儀の作法、スピーチ実践					
第9回	社会人としてのマナー(1)		電話の受け答えについて					
第10回	社会人としてのマナー(2)		電話対応で心掛けること					
第11回	社会人としてのマナー(3)		場面に応じた心得について①					
第12回	社会人としてのマナー(4)		画面に応じた心得について②					
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習			試験範囲説明		
第14回	振り返り授業・試験実施		サービス接客検定合格のポイント、受験			単位認定試験		
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説			試験解説		
教科書	適宜テキストを配布							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	美容 I		担当者	五郎畑・井田・小林・山田 奥田・岩井・小倉・小山・生田 高浪・谷奥	学科	ペット総合科 トリマー・コース	開講期	後期
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	3 (90)	学年	1 年次	曜日 時限	水 2～4
授業の概要	基本的なグルーミング・ベーシック・カットイング技術を覚える。							
学習目的	基本的なグルーミング・ベーシック・カットイング方法を身に付ける。							
学習目標	基本グルーミング・ベーシック・クリッピング・カットイング技術の習得し、目標時間内に仕上げる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	実技 長毛種カット (1)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (5頭)					
第2回	実技 長毛種カット (2)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (5頭)					
第3回	実技 長毛種カット (3)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (8頭)					
第4回	実技 長毛種カット (4)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (8頭)					
第5回	実技 長毛種カット (5)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (8頭)					
第6回	実技 長毛種カット (6)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (10頭)					
第7回	実技 長毛種カット (7)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (10頭)					
第8回	実技 長毛種カット (8)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (10頭)					
第9回	実技 長毛種カット (9)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (10頭)					
第10回	実技 長毛種カット (10)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (15頭)					
第11回	実技 長毛種カット (11)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (15頭)					
第12回	実技 長毛種カット (12)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (15頭)					
第13回	実技 長毛種カット (13)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (15頭) レッスン・ドッグ 仕上げテスト (18名)				レッスンドッグ 仕上げテスト	
第14回	実技 長毛種カット (14)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (15頭) レッスン・ドッグ 仕上げテスト (18名)				レッスンドッグ 仕上げテスト	
第15回	実技 長毛種カット (15)		マルチーズ・シーザー等 (サマーカット)、プードル種 学生2名で1頭仕上げ (15頭) レッスン・ドッグ 仕上げテスト (18名)				レッスンドッグ 仕上げテスト	
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング (トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時 注) 当日のモデル犬種により、授業内容が変更する場合があります。							

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習Ⅱ (トリマーコース)		担当者	五郎畑・井田・小林・山田 奥田・岩井・小倉・小山 生田・高浪・谷奥	学科	ペット総合科 トリマー・コース	開講期	通期
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	6 (180)	学年	2年次	曜日 時限	月・火・木 2～4
授業の概要	各現場で通用するトリミング技術を覚える。							
学習目的	新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない。 時間短縮をより意識する。クリッピング時間の短縮。 JKCトリマーライセンス取得試験を意識した各犬種のトリミングができる。							
学習目標	指定時間（2時間）内に、モデル犬1頭を一人で仕上げるようになる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	実技（プードル種 1）		プードル種の足先（趾先）・尾軸の刈り方を覚える					
第2回	実技（プードル種 2）		プードル種の顔部（Vネック）の刈り方を覚える					
第3回	実技（プードル種 3）		プードル種の顔部（Uネック）の刈り方を覚える					
第4回	実技（プードル種 4）		指（趾）止めカットの方法を覚える					
第5回	実技（プードル種 5）		テディベアカットの体のトリミングを覚える					
第6回	実技（プードル種 6）		テディベアカットの顔のトリミングを覚える					
第7回	実技（プードル種 7）		テディベアカットの全体のシルエットを覚える					
第8回	実技（AMコッカー種 1）		Aコッカーの顔の刈り方を覚える					
第9回	実技（AMコッカー種 2）		Aコッカーの全体のトリミングを理解する					
第10回	紙粘土細工（2）		プードル種 ケネル&ラムクリップを紙粘土で形作る					
第11回	実技（ポメラニアン 1）		ポメラニアンのスタンダード・スタイルのカット方法を覚える					
第12回	実技（ポメラニアン 2）		ポメラニアンの柴犬・スタイルのカット方法を覚える					
第13回	実技（ポメラニアン 3）		ポメラニアンのライオン・スタイルのカット方法を覚える					
第14回	実技（プードル種 8）		ケネル&ラムの後肢の作り方を覚える				確認テスト	
第15回	実技（プードル種 9）		ケネル&ラムの前肢の作り方を覚える				確認テスト	
第16回	実技（プードル種 10）		ケネル&ラムの頭部の作り方を覚える					
第17回	実技（プードル種 11）		ケネル&ラムの頸の作り方を覚える					
第18回	実技（プードル種 12）		ケネル&ラムの全体的なバランスの作り方 (長所・短所を見極める)を覚える					
第19回	実技（シュナウザー種 1）		シュナウザーの顔の刈り方を覚える					
第20回	実技（シュナウザー種 2）		シュナウザーの全体のトリミングを覚える					
第21回	実技（ビション 1）		ビションフリーゼの顔のトリミングを覚える					
第22回	実技（ビション 2）		ビションフリーゼの全体のトリミングを覚える					
第23回	実技（プードル種 13）		ムスタッシュの作り方を覚える					
第24回	実技（プードル種 14）		ベルトの入れ方を覚える					
第25回	実技（プードル種 15）		チャンネルの入れ方を覚える					
第26回	実技（プードル種 16）		バンドの入れ方を覚える					
第27回	実技（テリア種 1）		ブラッキングの方法を覚える					
第28回	実技（テリア種 2）		ウエスティーの顔のトリミングを覚える					
第29回	実技（テリア種 3）		ウエスティーの全体のトリミングを覚える				実技確認テスト	
第30回	実技（プードル種 17）		プードル種のデザイン・カット（応用）を覚える				実技確認テスト	
教科書 参考書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング（トリマーの基礎知識）、最新犬種図鑑							
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修の ポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス ・アワー	随時 注) 当日のモデル犬種により、授業内容が変更する場合があります。							

平成30年度 シラバス

科目名	犬種別トリミングⅡ		担当者	五郎畑	学科	ペット総合科 トリマーコース	開講期	後期
区分	トリマー分野 理論	選択必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日 時限	
授業の概要	専門的な犬種別トリミング方法、クリップスタイルを覚える。							
学習目的	より深く犬種を知り、犬種にあった専門的なトリミング方法を覚える。							
学習目標	シザーリング、スイニング、ブラッキング犬種のトリミングの知識を身につける。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	トリマー・コース 美容実習授業開始前の注意事項 マルチーズ スタンダード		授業開始前の伝達事項 スタンダード解説				最新犬種図鑑	
第2回	マルチーズ サマー・カット (1)		パピー・タイプの頭部カット方法について					
第3回	マルチーズ サマー・カット (2)		ボディーのカット方法について (側望)					
第4回	マルチーズ サマー・カット (3)		ボディーのカット方法について (前・後望、耳、尾)					
第5回	シーズー スタンダード、頭部カット		スタンダード解説 頭部のカット方法について				最新犬種図鑑	
第6回	ヨークシャー・テリア スタンダード ヨークシャー・テリア トリミング方法 (1)		スタンダード解説 頭部、耳のトリミング方法について				最新犬種図鑑	
第7回	ヨークシャー・テリア トリミング方法 (2)		ボディーのカット方法について①					
第8回	ヨークシャー・テリア トリミング方法 (3)		ボディーのカット方法について②					
第9回	長毛種のラッピング方法		ラッピングの注意点、必要な犬種、パーティング・ライン					
第10回	イラスト プードル ベルジアン・クリップ イラスト ポメラニアン		プードル種の基本となる裸のイラストの描き方・注意点 ポメラニアンのショータイプ 側望図					
第11回	ポメラニアン サマー・カット (1)		サマー・カットのバリエーション①					
第12回	ポメラニアン サマー・カット (2)		サマー・カットのバリエーション②					
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説、総まとめ				試験解説	
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング (トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	トリマー演習		担当者	小林	学科	ペット総合科 トリマーコース	開講期	通期
区分	トリマー分野 理論	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日 時限	水・金 2
授業の概要	J K CトリマーライセンスC級取得のための知識、オリジナルカットのデザインの知識を身につける。							
学習目的	J K CトリマーライセンスC級取得、オリジナルカットのデザインができる。							
学習目標	1. J K CトリマーライセンスC級合格レベルの技術ができる（1人で1頭、2時間で仕上げる） 2. J K CトリマーライセンスC級合格レベルの学科知識を覚える（J K Cトリマーライセンス学科テストに合格する） 3. オリジナルカット、カラーリング、エクステンションの知識を覚える							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	トリマーライセンスについて		資格の分類と取得方法			トリマーの基礎知識 P70~76		
第2回	トリミング競技会		競技会の内容			トリマーの基礎知識 P77~86		
第3回	競技会画像の試写会		視覚によるイメージトレーニング			モニターによる		
第4回	ショー見学の結果		ドッグショーにおけるパピークリップとケネル&ラムの共通性			画像		
第5回	復習		ケネル&ラムクリップの復習 スタンダード、学科			グルーミングマニュアル 犬種図		
第6回	イラストの書き方		ケネル&ラムクリップ（骨格を考える）					
第7回	犬を選ぶ		テスト犬を選ぶ（1回目）			ブリーダーカルテ		
第8回	切り絵		イメージトレーニング（骨格を考える）			色紙		
第9回	粘土細工（1）		ケネル&ラムクリップ粘土細工 骨組み					
第10回	粘土細工（2）		ケネル&ラムクリップ粘土細工 粘土付け					
第11回	粘土細工（3）		ケネル&ラムクリップ粘土細工 仕上げ					
第12回	イラストの書き方		ケネル&ラムクリップ（全体のバランスを考える）					
第13回	切り絵		イメージトレーニング（全体のバランスを考える）			色紙		
第14回	学科の模擬試験（1）		模擬試験の実施と答え合わせ（犬体用語を覚える）			プリント		
第15回	学科の模擬試験（2）		模擬試験の実施と答え合わせ（犬体用語を覚える）			プリント		
第16回	学科の模擬試験（3）		模擬試験の実施と答え合わせ（グルーミングの基本を覚える）			プリント		
第17回	学科の模擬試験（4）		模擬試験の実施と答え合わせ（グルーミングの基本を覚える）			プリント		
第18回	ケネル&ラムクリップ画像集		模擬試験の実施と答え合わせ（プードルのスタンダードを覚える）			プリント		
第19回	骨格を考える		模擬試験の実施と答え合わせ（プードルのスタンダードを覚える）			プリント		
第20回	競技会見学		近畿ブロックトリミング競技会見学					
第21回	学科の模擬試験（5）		模擬試験の実施と答え合わせ（その他の犬種を覚える）			プリント		
第22回	学科の模擬試験（6）		模擬試験の実施と答え合わせ（その他の犬種を覚える）			プリント		
第23回	犬を選ぶ		テスト犬を選ぶ（2回目）			ブリーダーカルテ		
第24回	骨格を考える		欠点のカバー					
第25回	ケネル&ラムクリップ画像集		視覚によるイメージトレーニング					
第26回	デザイン画		欠点のカバー					
第27回	学科の模擬試験（7）		模擬試験の実施と答え合わせ（総合）			プリント		
第28回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習			試験範囲説明		
第29回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験			単位認定試験		
第30回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説			試験解説		
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、全犬種標準書、オリジナルカットデザイン集							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	犬種別トリミングⅢ		担当者	五郎畑	学科	ペット総合科 トリマーコース	開講期	通期
区分	トリマー分野 理論	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日 時限	水 1(2)
授業の概要	専門的な犬種別トリミング方法、JKCライセンス取得クリップスタイルを覚える。							
学習目的	1年時より深く犬種を知り、犬種にあった専門的なトリミング方法を覚える。							
学習目標	1. JKCTリマーライセンスC級合格レベルの知識を身につける。 2. シザーリング、スイニング、ブラッキング犬種のトリミングの知識を身につける。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	プードル	ケネル&ラム・クリップ①	ケネル&ラム・クリップ トリミング方法①					
第2回	プードル	ケネル&ラム・クリップ②	ケネル&ラム・クリップ トリミング方法②					
第3回	プードル犬種について (1)		プードル種全般について (歴史・沿革・クリップの由来・クリッピング時の注意点等)					
第4回	プードル犬種について (2)		プードル種全般について (好まれる理由、トリミングの手順、シャンプー&ドライイング時の注意点)					
第5回	プードル犬種について (3)		プードル種全般について (カッティング&チップング時の注意点、耳&四肢の付属形、ムスタッシュの種類等)					
第6回	プードル	ベルジャン・クリップの描き方・注意点 長毛種のラッピング方法	基本となる裸 (ベルジャン・クリップ) の描き方・注意点					
第7回	マルチーズ等の背・胴バリカン使用トリミング方法について		サロンにおける主流カット					
第8回	プードル種	ペット・トリミング (1)	テディー・ベアカットを覚える					
第9回	Aコッカーのペット・トリミング (1)		スタンダード解説 ペット・トリミング クリッパー仕上げ①				最新犬種図鑑	
第10回	Aコッカーのペット・トリミング (2)		ペット・トリミング クリッパー仕上げ②					
第11回	シュナウザーのペット・トリミング (1)		スタンダード解説 ペット・トリミング クリッパー仕上げ①				最新犬種図鑑	
第12回	シュナウザーのペット・トリミング (2)		ペット・トリミング クリッパー仕上げ②					
第13回	長脚テリアのトリミング (1)		ワイヤーフォックステリア スタンダード解説 ワイヤーフォックステリア ペット・トリミング方法①				最新犬種図鑑	
第14回	長脚テリアのトリミング (2)		ワイヤーフォックステリア ペット・トリミング方法②					
第15回	短脚テリアのトリミング (1)		ウエストハイランド・ホワイトテリア スタンダード解説 ウエストハイランド・ホワイトテリア ペット・トリミング方法①				最新犬種図鑑	
第16回	短脚テリアのトリミング (2)		ウエストハイランド・ホワイトテリア ペット・トリミング方法②					
第17回	シザーリング犬種 (1)		ビションフリーゼ スタンダード解説 ビションフリーゼ ペット・トリミング ①				最新犬種図鑑	
第18回	シザーリング犬種 (2)		ビションフリーゼ ペット・トリミング ②					
第19回	短脚テリアのトリミング (3)		スコティッシュテリア スタンダード解説 スコティッシュテリア ペット・トリミング方法 ①				最新犬種図鑑	
第20回	短脚テリアのトリミング (4)		スコティッシュテリア ペット・トリミング方法 ②					
第21回	JKCTリマーライセンス受験にあたっての心構え・注意事項		審査ポイント、視点、マナー、礼儀について					
第22回	シザーリング犬種 (3)		ベドリントンテリア スタンダード解説 ベドリントンテリア ペット・トリミング方法①				最新犬種図鑑	
第23回	シザーリング犬種 (4)		ベドリントンテリア ペット・トリミング方法②					
第24回	シザーリング犬種 (5)		ケリーブルーテリア スタンダード解説 ケリーブルーテリア ペット・トリミング方法①				最新犬種図鑑	
第25回	シザーリング犬種 (6)		ケリーブルーテリア ペット・トリミング方法②					
第26回	短脚テリアのトリミング (5)		ノーフォークス・テリア スタンダード解説 ノーフォークス・テリア ペット・トリミング方法 ①				最新犬種図鑑	
第27回	プードル種	ペット・トリミング (2)	アフロ・モヒカン・マッシュルームカットを覚える パジャマダッチクリップ、ボレロマンハッタンクリップ ロイヤルダッチクリップ、マイアミクリップ					
第28回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明	
第29回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験	
第30回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説	
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング (トリマーの基礎知識)、最新犬種図鑑							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	訓練 I		担当者	仲川	学科	ペット総合科 トレーナー・コース	開講期	通期
区分	トレーナー分野 実習	選択必須	単位 (時間)	4 (120)	学年	2年次	曜日 時限	月 3, 4
授業の概要	訓練とはどんなことか、どのように行うのかを覚える							
学習目的	1頭以上訓練を入れ、JKC競技会に出場する。							
学習目標	JKC訓練競技会出場と、CD1訓練試験に合格する。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	自己紹介と授業内容説明 JKC訓練競技会とは何か		自己紹介、授業内容の説明・進め方 オビディエンスとは何か、担当犬との関係作りをする アイコンタクトについて					
第2回	競技会科目について		訓練犬を使って競技会科目を覚える 競技会ビデオ鑑賞 (DVD) 担当犬との関係作り 誘導で犬を動かす					
第3回	誘導方法		訓練済犬を使って競技会科目を覚える 誘導で犬を動かす					
第4回	訓練競技会科目 (1)		脚側行進 脚側停座 行進					
第5回	訓練競技会科目 (2)		立止 伏臥 行進中の伏臥 伏臥からの招呼					
第6回	訓練競技会科目 (3)		校外授業 誘導のある状況で自分に注目させる					
第7回	訓練競技会科目 (4)		校外授業 脚側行進 脚側停座					
第8回	訓練競技会科目 (5)		校外授業 立止 伏臥					
第9回	訓練競技会科目 (6)		担当犬で誘導しながらCDISをする					
第10回	訓練競技会科目 (7)		停座 伏臥の状態 で長時間待つ					
第11回	訓練競技会科目 (8)		校外授業 停座 伏臥 据座の状態 で長時間待つ					
第12回	訓練競技会科目 (9)		校外授業 通しながらCDISを通す					
第13回	訓練競技会科目 (10)		苦手科目の強化 (1) (ビデオ撮影後、確認) オビディエンスビギナー 1 の課目 1~3の説明と実					
第14回	訓練競技会科目 (11)		苦手科目の強化 (2) (ビデオ撮影後、再確認) オビディエンスビギナー 1 の課目 4~5の説明と実					
第15回	訓練競技会科目 (12)		招呼 競技会・トレーニングの進め方					
第16回	訓練競技会科目 (13)		おやつ、おもちゃの誘導なしで科目ができる					
第17回	訓練競技会科目 (14)		屋外でおやつ、おもちゃの誘導なしで科目ができる					
第18回	訓練競技会に向けての実践練習 (1)		秋の競技会に向けて練習 (1) プリント学習、自主練習					
第19回	訓練競技会に向けての実践練習 (2)		秋の競技会に向けて練習 (2) CDISを通して練習					
第20回	復習		競技会でできなかったポイント練習					
第21回	訓練競技会科目 (15)		障害飛越					
第22回	訓練競技会科目 (16)		ひも無しの脚側行進 脚側停座					
第23回	訓練競技会科目 (17)		ひも無しの立止 伏臥 休止					
第24回	訓練競技会科目 (18)		ひも無しの招呼、遠隔の伏臥 停座					
第25回	訓練競技会科目 (19)		校外授業 コースを引いて形式通にできる (1)					
第26回	訓練競技会科目 (20)		校外授業 コースを引いて形式通にできる (2)					
第27回	訓練競技会科目 (21)		校外授業 コースを引いて形式通にできる (3)					
第28回	訓練競技会に向けての実践練習 (3)		春の競技会に向けて練習				試験範囲説明	
第29回	授業の振り返り		後期末試験の練習				単位認定試験	
第30回	試験		後期末試験				試験解説	
教科書	適宜テキストを配布							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	訓練Ⅱ (ドッグ・スポーツ)		担当者	小泉	学科	ペット総合科 ドッグトレーナー	開講期	通年	
区分	トレーナー分野 実習	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日 時限	火 3, 4	
授業の概要	スポーツを通して、犬とのコミュニケーション力向上を行う								
学習目的	社会で自立するための技術・知識の向上と社会貢献								
学習目標	各パートナー犬との信頼関係を築く								
授 業 計 画									
回	主 題	授 業 内 容					備考		
第1回	授業の進め方、注意事項の確認 ドッグ・スポーツとは	授業の進め方・注意事項の確認、必要な道具の説明 パートナーとの関係性をチェック							
第2回	ドッグ・スポーツの必要性	ドッグ・スポーツの必要性 クレート・トレーニング							
第3回	トレーニングの要点(1)	トレーニング前の要点 ウォーミング・アップ、ストレッチ							
第4回	トレーニングの要点(2)	トレーニング中の要点 インターバル・トレーニング							
第5回	トレーニングの要点(3)	トレーニング後の要点・注意事項 クール・ダウン、マッサージ ドッグダンストリックの練習							
第6回	犬の管理	食事・体重管理							
第7回	運動・注意点について	運動について、熱中症対策							
第8回	ボディー・ランゲージ(1)	ボディー・ランゲージについて(1) パッド・ケア、マッサージの仕方							
第9回	ボディー・ランゲージ(2)	ボディー・ランゲージについて(2)							
第10回	音の使い方	音の反応、訓練における音の使い方について 呼び込み・呼び戻しの練習							
第11回	ストレス反応について	ストレス反応について 犬の学習(強化と弱化、正と負)について 指示の使い方							
第12回	クリッカー・トレーニング(1)	クリッカー・トレーニング(コンディショニング) 視符・休符・声符の使い方、視覚と聴覚の優先指示について							
第13回	クリッカー・トレーニング(2)	クリッカー・トレーニング(行動にマークする) 問題行動について							
第14回	クリッカー・トレーニング(3) 問題行動(1)	クリッカー・トレーニング(ターゲット・トレーニング) 問題行動(攻撃性)、問題行動(ハイパーアクティブ)							
第15回	クリッカー・トレーニング(4) 問題行動(2)	クリッカー・トレーニング(応用) 問題行動(不安・恐怖)、問題行動(脱走行動・執着の克服)							
第16回	ダンス・ドッグ(1) 問題行動(3)	ダンス・ドッグ スポーツの社会貢献 おもちゃの使い方							
第17回	ダンス・ドッグ(2)	ダンス・ドッグ 個人発表							
第18回	トレーニング(1)	犬との遊び タグ・トレーニング							
第19回	トレーニング(2) ディスク・ドッグ(1)	マット・トレーニング、個人発表 ディスク・ドッグ① ルール説明、 ディスク・ドッグ ビデオ鑑賞							
第20回	ディスク・ドッグ(2)	ディスク・ドッグ② トス・キャッチ・スローイング・ローラーの練習							
第21回	ディスク・ドッグ(3)	ディスク・ドッグ③ アップ・オーバー・ドッグキャッチの練習 シェーピング 個人発表							
第22回	アジリティー(1)	アジリティー① 障害物の種類、減点の方法 シェーピング							
第23回	アジリティー(2)	アジリティー② シェーピング 個人発表							
第24回	アジリティー(3)	アジリティー③ シェーピング							
第25回	アジリティー(4)	アジリティー④ シェーピング 個人発表							
第26回	フライ・ボール(1)	フライボール① リーダー・シップについて							
第27回	フライ・ボール(2)	フライボール②							
第28回	フライ・ボール(3)	フライボール③						試験範囲説明	
第29回	試験実施	試験実施 実技発表						単位認定試験	
第30回	試験解説	試験の解説 実技発表						試験解説	
教科書	適宜テキストを配布								
参考書									
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
履修の ポイント オフィス ・アワー	出席率80%以上が前提となる								

平成30年度 シラバス

科目名	家庭犬訓練Ⅱ		担当者	小泉	学科	ペット総合科 トリマーコース	開講期	前期
区分	トレーナー分野 講義・実習	選択必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日 時限	木 1(2)
授業の概要	2年次からの専門的なコース授業開始に向けて、犬種を熟知し自分に相応するパートナーモデル犬を見極める。犬を飼養するために必要なことを学ぶ。							
学習目的	犬を飼養する意義を考え、自分に合ったパートナーモデル犬を決定し、トレーナーとの絆を深かめながら基本的なコントロール方法を覚え身に付ける。							
学習目標	2年次からの授業をスムーズに移行できるパートナーを選び、必要な訓練の実践ができる。犬を飼養する人へ適切なアドバイスができる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	犬を飼養する目的		なぜ犬を飼うのか、犬を飼う目的・必要性を考える リードの使い方、テンションのかけ方練習					
第2回	飼養可能環境下かどうかの判断		本当に犬を飼えるのか？ 自分自身を振り返る リードワーク、テンションのかけ方					
第3回	終生飼養を原則とした犬種選び 本当に犬を飼養できるかどうか（自己分析） 呼び戻し（1）		犬を見極める（犬種選び） 呼び戻しの基本練習 呼び戻し（ロングリードを使用）					
第4回	子犬を迎え入れる準備について 呼び戻し（2）		子犬を飼う前に（飼養開始時期） 呼び戻しの練習 ノーリードでの呼び戻し					
第5回	子犬の入手先について コマンドについて（1）		子犬の入手先、良いブリーダー・ショップを見極める 呼び戻しの復習 YES・NOの使い方・タイミング					
第6回	子犬の発達判断、犬種別遺伝病について コマンドについて（2）		子犬の発達判断について ハンドリング、ジェントリングの方法 ウエイト強化①					
第7回	不妊・去勢について コマンドについて（3）		不妊・去勢の時期、について ウエイトの強化② ストップを覚える					
第8回	子犬を新しい環境に慣れさせる		犬を自宅に迎え入れる（家に入る手順、先住犬に合わせる） 子犬が来て1週間で教えること（トイレのしつけ） ストップの練習（動きを止める）					
第9回	初めてのトレーニング		子犬が来て1週間で教えること（居場所の制限） 噛むおもちゃのトレーニング ハウスステイ					
第10回	屋外に連れ出す時の注意事項		外へ連れ出すタイミングと注意事項 屋外運動について					
第11回	マイクロチップについて		マイクロチップの必要性					
第12回	子犬のしつけ（1）		子犬のしつけについて①					
第13回	子犬のしつけ（2） 人生の転機に備える		子犬のしつけについて② 人生の転機に必要なことを考える				試験範囲説明	
第14回	復習、試験実施		復習、試験実施 実技テスト				単位認定試験	
第15回	授業を終えて、振り返り、まとめ		試験の解説、振り返り				試験解説	
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	家庭犬訓練Ⅲ		担当者	新江	学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	トレーナー分野 実習	選択必 須	単位 (時間)	4 (120)	学年	2年次	曜日	水
								時限
授業の概要	犬を知ること、つくれること（家庭犬訓練の学科と実技内容を知る）							
学習目的	犬のトレーニングについての考え方・接し方・実技を学び、覚える							
学習目標	犬とのゲームや実技を通して、楽しみながらトレーニングする方法・考える力を身に付ける。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	はじめに	自己紹介と授業の進め方・注意事項について						
第2回	犬を知る	オオカミとイヌの違いを覚える						
第3回	犬種の選択	人為選択と自然選択						
第4回	犬個体について	イヌによって違うことと同じこと						
第5回	犬の行動	イヌの考えと行動						
第6回	トレーニングのポイント必要性	イヌを作るってどういうこと？						
第7回	ゲーム（1）	YES・NOゲーム						
第8回	トレーニングのポイント	ほめることと叱ること、かまうことと無視すること						
第9回	考え方の違い	イヌの考えとヒトの考え						
第10回	犬とオーナーの思考差	イヌの考え・飼い主の考え						
第11回	ゲーム（2）	トレーニング・スケジュール①						
第12回	ゲーム（3）	トレーニング・スケジュール②						
第13回	態度について	ヒトと接する時の態度						
第14回	まとめ（1）と前期の復習	前期のまとめと復習						
第15回	理解度確認	なぜ、うまくいく？						
第16回	コマンドとタイミング	コマンドとは、何か？ コマンドのタイミング						
第17回	インターバル・トレーニング	トレーニング						
第18回	冷静に考えること	トレーニング中における注意点						
第19回	どれなら信じる？	トレーニング中の模索法						
第20回	環境による幸福度	イヌにとって、都会・校外・田舎のどれが幸せか？						
第21回	恐怖について	恐怖性と恐怖心について						
第22回	コントロール方法	パーク・コントロールについて						
第23回	攻撃性（1）	様々な攻撃性について①						
第24回	攻撃性（2）	様々な攻撃性について②						
第25回	パーソナル・スペース	パーソナル・スペースについて						
第26回	トリックについて	様々なトリックについて						
第27回	アイテムについて	様々なアイテムについて						
第28回	まとめ（2）	一年間の総まとめ					試験範囲説明	
第29回	振り返りと試験	振り返りと試験実施					単位認定試験	
第30回	試験の解説	試験の解説					試験解説	
教科書	適宜テキストを配布							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	パピーケアⅡ		担当者	伊勢村	学科	ペット総合科 ドッグ・トレーナー	開講期	後期
区分	トレーナー分野 実習	選択必須	単位 (時間)	4 (120)	学年	2	曜日 時限	
授業の概要	1年次履修内容より深く、生後1ヵ月から1歳になるまでのしつけ・栄養・健康・アドバイスを学ぶ							
学習的目	1年次で学んだことを基礎に、生後1ヵ月から1歳になるまでの知識を更に深く学ぶ							
学習目標	総合的視野から犬の成長に必要な知識を深く知る							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	ケアー（1）		仔犬との接し方・ケアーの仕方					
第2回	ケアー（2）		夏と冬のケアーの違い					
第3回	仔犬		仔犬を迎える準備					
第4回	実技（1）		コマンドの確認（アイコンタクト）					
第5回	実技（2）		コマンドの確認（マズルコントロール・シャドーイング）					
第6回	実技（3）		体チェック方法 社会化見学					
第7回	幼年期（1）		リード・カラーの使い方					
第8回	幼年期（2）		散歩の方法					
第9回	実技（4）		実習トレーニング導入					
第10回	実技（5）		オベディエンス					
第11回	実技（6）		オペラントの条件づけ					
第12回	実技（7）		おいで・まで					
第13回	実技（8）		ふせ・ヒール					
第14回	復習		コマンドの的確な出し方					
第15回	シュミレーション（1）		パピースクールについて					
第16回	シュミレーション（2）		しつけ教室					
第17回	シュミレーション（3）		ペットアドバイザー					
第18回	シュミレーション（4）		役割を変えて体験授業					
第19回	行動（1）		やめてほしいくせ					
第20回	行動（2）		トイレ・グループ別アイコンタクト					
第21回	行動（3）		犬を教えるフォーメーション					
第22回	シュミレーション（5）		ドッグトレーナー					
第23回	シュミレーション（6）		アシスタント					
第24回	シュミレーション（7）		オーナー					
第25回	ケアー（3）		冬の過ごし方					
第26回	行動（4）		リーダーシップ					
第27回	行動（5）		犬の育児計画					
第28回	行動（6）		待てをさせよう				試験範囲説明	
第29回	実技（9）		犬に考えさせる				単位認定試験	
第30回	実技（10）		発想を持ったしつけの仕方				試験解説	
教科書	適宜テキストを配布							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	ハンドリング		担当者	山中	学科	ペット総合科 ドッグトレーナーコース	開講期	前期
区分	トレーナー分野 実習	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日 時限	水 3, 4
授業の概要	ハンドリングの方法と技術を覚える。							
学習目的	犬種を理解し、犬をより深く愛せるハンドラーになる。							
学習目標	JKC ハンドリングC級ライセンスに合格する。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ハンドリングの歴史(1)	ハンドリングとドッグショーの歴史①						
第2回	ハンドリングの歴史(2)	ハンドリングとドッグショーの歴史②						
第3回	ハンドリングのシステム(1)	ショーシステムについて						
第4回	ハンドリングのシステム(2)	ショーシステムをDVDで観る						
第5回	審査方法	審査員は何を見ようとしているのかを知る						
第6回	手順方法	スタックの手順方法を覚える						
第7回	スタックとは何か	リードのかけ方・持ち方を覚える						
第8回	歩行方法	歩行パターンを身につける						
第9回	リードワークの仕方	リードワークをDVDを観て覚える						
第10回	歩行練習(1)	実際の歩行パターン①を覚える(実技)						
第11回	歩行練習(2)	実際の歩行パターン②を覚える(実技)						
第12回	歩行練習(3)	実際の歩行パターン③を覚える(実技)						
第13回	マナー・ルールについて(1)	ドッグショーでのマナーとルールを覚える						
第14回	授業の振り返り	試験対策・振り返り					試験範囲説明	
第15回	試験	試験(実技)					単位認定試験	
教科書	JKC ハンドリングマニュアル							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	グルーミングⅡ (他コース用)	担当者	五郎畑・井田・小林・山田 奥田・岩井小倉・小山・生田 高浪・谷奥	学科	ペット総合科 アドバイザー・コース トレーナー・コース	開講期	通期
区分	ペット基礎 実習	必須	単位 (時間)	6 (180)	学年	2年次	曜日 木 時間 2～4
授業の概要	各現場で通用するグルーミング技術を覚える。						
学習目的	新たな犬種についての美容に関する技術を覚え、1年生から学んだ技術を後退させない。時間短縮をより意識する。						
学習目標	指定時間（2時間）内に、モデル犬1頭を一人で仕上げられるようになる。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容					備考
第1回	実技 短毛種（1）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ					
第2回	実技 中毛種（1）	チワワ（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ					
第3回	実技 その他の短毛種（1）	柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（1頭）					
第4回	実技 短毛種（2）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（1頭）					
第5回	実技 中毛種（2）	チワワ（ロング・ヘアード）、ダックスフンド（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（1頭）					
第6回	実技 その他の中毛種（1）	ペキニーズ、狎、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（1頭）					
第7回	実技 その他の中毛種 （1） 大型犬	フラット・コーテッド・レトリバー、ゴールデン・レトリバー・シェットランド・シープドッグ、ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（2頭）					
第8回	実技 短毛種（3）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（2頭）					
第9回	実技 中毛種（3）	チワワ（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（2頭）					
第10回	実技 その他の短毛種（2）	柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（3頭）					
第11回	実技 短毛種（4）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（3頭）					
第12回	実技 中毛種（4）	チワワ（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（3頭）					
第13回	実技 その他の中毛種（2）	ペキニーズ、狎、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（3頭）					
第14回	実技 その他の中毛種（2） 大型犬	フラット・コーテッド・レトリバー、ゴールデン・レトリバー・シェットランド・シープドッグ、ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（3頭）					確認テスト
第15回	実技 短毛種（5）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（4頭）					確認テスト
第16回	実技 中毛種（5）	チワワ（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（4頭）					
第17回	実技 その他の短毛種（3）	柴、ジャック・ラッセル・テリア、ブルドッグ等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（4頭）					
第18回	紙粘土細工（2）	好きな犬種を紙粘土で形作る					紙粘土・新聞紙他
第19回	実技 短毛種（6）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（5頭）					
第20回	実技 中毛種（6）	チワワ（ロング・ヘアード）・ダックスフンド（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（5頭）					
第21回	実技 その他の中毛種（3）	ボメラニアン（耳先、足回り、第1関節の裏側、尾の付け根、尻部、アンダーライン） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（5頭）					
第22回	実技 短毛種（7）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（6頭）					
第23回	実技 中毛種（7）	チワワ（ロング・ヘアード）・ダックスフンド（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（6頭）					
第24回	実技 その他の中毛種（3） 大型犬	フラット・コーテッド・レトリバー、ゴールデン・レトリバー・シェットランド・シープドッグ、ブリュッセル・グリフォン等 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（7頭）					
第25回	実技 短毛種（8）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（7頭）					
第26回	実技 中毛種（8）	チワワ（ロング・ヘアード）・ダックスフンド（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（8頭）					
第27回	実技 短毛種（9）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（8頭）					
第28回	実技 短毛種（10）	チワワ（スムース・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ 学生1名で1頭仕上げ（9頭）					
第29回	実技 中毛種（8）	チワワ（ロング・ヘアード）・ダックスフンド（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（10頭）					実技テスト（1）
第30回	実技 中毛種（8）	チワワ（ロング・ヘアード）・ダックスフンド（ロング・ヘアード） 学生2名で1頭仕上げ、学生1名で1頭仕上げ（10頭）					実技テスト（2）
教科書	最新ドッググルーミングマニュアル、プロが教えるベスト・トリミング（トリマーの基礎知識）、最新犬種図鑑						
参考書							
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。						
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる						
オフィス・アワー	随時 注）当日のモデル犬種により、授業内容が変更する場合があります。						

平成30年度 シラバス

科目名	愛犬飼育管理学		担当者	山田	学科	ペット総合科 アドバイザーコース トレーナー・コース	開講期	後期
区分	アドバイザー分野 理論	選択必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	1年次	曜日 時限	
授業の概要	犬種についての基本的な知識を覚える。							
学習目的	J K C 愛犬飼育管理士資格取得。							
学習目標	J K C 愛犬飼育管理士資格試験に合格する。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	犬学 (1)		犬の起源と進化、犬の生態、犬の感覚			愛犬飼育管理士教本 P. 7~11		
第2回	犬学 (2)		犬の生理			愛犬飼育管理士教本 P. 11~14		
第3回	犬の飼育管理 (1)		適正な飼育環境			愛犬飼育管理士教本 P. 17~22		
第4回	犬の飼育管理 (2)		健康管理			愛犬飼育管理士教本 P. 23~29		
第5回	犬の繁殖学 (1)		健康な犬を繁殖するには、繁殖家の守るべき心得			愛犬飼育管理士教本 P. 47		
第6回	犬の繁殖学 (2)		犬の繁殖生理			愛犬飼育管理士教本 P. 48~55		
第7回	犬の繁殖学 (3)		交配相手選びの条件、交配の技術、出産までの健康管理			愛犬飼育管理士教本 P. 56~58		
第8回	犬の繁殖学 (4)		出産時の注意点、新生児に関する注意、繁殖の現状とこれからの問題点			愛犬飼育管理士教本 P. 58~64		
第9回	犬の動物愛護 (1)		動物取扱業者としての職業倫理、職務と責任			愛犬飼育管理士教本 P. 67~76		
第10回	犬の動物愛護 (2)		動物愛護のための法律知識			愛犬飼育管理士教本 P. 77~86		
第11回	犬種名の由来 (1)		ア~サ行の犬種			愛犬飼育管理士教本 P. 121~126		
第12回	犬種名の由来 (2)		タ~ワ行の犬種			愛犬飼育管理士教本 P. 126~133		
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習			試験範囲説明		
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験			単位認定試験		
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説			試験解説		
教科書	J K C 愛犬飼育管理士教本							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	小動物概論Ⅱ		担当者	田邊	学科	ペット総合科 アドバイザー・コース	開講期	通期
区分	アドバイザー分野 理論	選択必須	単位 (時間)	4 (120)	学年	2年次	曜日 時限	火 3, 4
授業の概要	動物全般について(哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・無脊椎動物)							
学習目的	小動物全般について広範囲の知識を覚える							
学習目標	動物全般に対する知識を幅広く身につける							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	動物学(1)	分類						
第2回	動物学(2)	生態						
第3回	動物学(3)	分布、野外実習(校外学習)①						
第4回	哺乳類(1)	単孔目、双門歯目、長鼻目、海牛目、被甲目、有毛目						
第5回	哺乳類(2)	霊長目、ウサギ目						
第6回	哺乳類(3)	げっ歯目、トガリネズミ目						
第7回	哺乳類(4)	鯨偶蹄目、校外授業						
第8回	哺乳類(5)	食肉目、奇蹄目、翼手目						
第9回	鳥類(1)	鳴き声、走鳥目						
第10回	鳥類(2)	カモ目、キジ目						
第11回	鳥類(3)	インコ目、野外実習(校外学習)②						
第12回	鳥類(4)	スズメ目						
第13回	爬虫類(1)	カメ目						
第14回	爬虫類(2)	トカゲ目						
第15回	爬虫類(3)	ヘビ垂目						
第16回	爬虫類(4)	ワニ目						
第17回	両生類(1)	特徴						
第18回	両生類(2)	有尾目						
第19回	両生類(3)	無尾目①						
第20回	両生類(4)	無尾目②、野外観察						
第21回	魚類(1)	無顎類、軟骨魚類						
第22回	魚類(2)	原始的な魚						
第23回	魚類(3)	条鰭類						
第24回	魚類(4)	観賞魚、野外観察(校外授業)①						
第25回	無脊椎動物(1)	分類						
第26回	無脊椎動物(2)	昆虫						
第27回	無脊椎動物(3)	その他						
第28回	まとめ、試験範囲の復習	まとめと野外観察(校外授業)②					試験範囲説明	
第29回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験					単位認定試験	
第30回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説	
教科書	適宜テキストを配布							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	小動物販売士検定		担当者	田邊	学科	ペット総合科 ペットアドバイザー	開講期	通期
区分	アドバイザー分野 理論／実習	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日 時限	火 2
授業の概要	小動物の飼育、野外実習							
学習目的	飼育の方法・知識を覚える							
学習目標	技術を覚える							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	飼育の基本	飼育にあたって						
第2回	飼養動物の歴史	ペットや家畜の歴史						
第3回	野外実習（1）	野外実習（梅小路公園）						
第4回	飼育装置（1）	飼育器具①						
第5回	飼育装置（2）	飼育器具②						
第6回	餌	餌の種類						
第7回	野外実習（2）	野外実習（宝ヶ池）						
第8回	種別飼育法（1）	フクロモモンガ						
第9回	種別飼育法（2）	リスザル						
第10回	種別飼育法（3）	ウサギ						
第11回	野外実習（3）	野外実習（深泥ヶ池）						
第12回	種別飼育法（4）	リス						
第13回	種別飼育法（5）	ネズミ						
第14回	種別飼育法（6）	ハムスター						
第15回	野外実習（4）	野外実習（未定）						
第16回	種別飼育法（7）	スナネズミ、トビネズミ、テンジクネズミ						
第17回	種別飼育法（8）	チンチラ、デグー						
第18回	種別飼育法（9）	ハリネズミ、ネコ①						
第19回	種別飼育法（10）	ネコ②						
第20回	野外実習（5）	野外実習（御所）						
第21回	種別飼育法（11）	ネコ③、フェレット						
第22回	種別飼育法（12）	鳥類						
第23回	種別飼育法（13）	爬虫類						
第24回	野外実習（6）	野外実習（モンキーパーク）						
第25回	種別飼育法（14）	両生類						
第26回	種別飼育法（15）	魚類						
第27回	種別飼育法（16）	昆虫						
第28回	まとめと野外実習（7）	試験範囲の復習とまとめ、野外実習（京都市動物園）					試験範囲説明	
第29回	振り返り授業・試験実施	受験前の振り返り、受験					単位認定試験	
第30回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説	
教科書	小動物の飼い方図鑑、動物販売業のための顧客説明マニュアル							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	水生生物Ⅱ		担当者	細川	学科	ペット総合科 ペットアドバイザー コース	開講期	後期
区分	アドバイザー分野	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	1年次	曜日	月
	時限							
授業の概要	アクアリウムの実践に向けての知識を覚える							
学習目的	水草の取り扱いと熱帯魚の性質を知り、アクアリウムの組み立てからレイアウトの完成をさせる計画を立てる。							
学習目標	2年次に1人に1つの水槽（基本60cm水槽）を管理し、レイアウト全ての作品を作り上げるための、水草の定着方法を学び、流木・アクセサリーを使用してのアレンジができるようになる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	後期授業について アクアリウムの基本		後期授業の説明 水槽の種類、ガラス水槽とアクリル水槽 短所と長所					
第2回	レイアウトの構成を考える		アクアリウムとアクアテラリウム レイアウト					
第3回	水草について（1）		水草の種類					
第4回	熱帯魚の性質・種類（1） 水槽レイアウト		熱帯魚の種類 水槽レイアウト					
第5回	熱帯魚の性質・種類（2） 水槽メンテナンス		熱帯魚の種類 水槽メンテナンス					
第6回	混泳ができる魚類について		異種魚の共存について					
第7回	ろ過器について 実践（実習）（1）		フィルター・装置の説明 ろ過器の種類・構造・方式 水槽メンテナンス					
第8回	水草について（2）		光合成について、水草を定着させる方法					
第9回	水草について（3） 水槽メンテナンス		水草のレイアウト 水槽メンテナンス					
第10回	実践（実習）（2）		水槽のレイアウトを構想する					
第11回	給餌について 水槽管理について 水槽メンテナンス		CB個体とWC個体について 水槽管理の応用 水槽メンテナンス					
第12回	1年生に学んだことのまとめ		1年間のまとめ					
第13回	まとめ、試験範囲の復習		まとめと野外観察（校外授業）②			試験範囲説明		
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験			単位認定試験		
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説			試験解説		
教科書	観賞魚大図鑑							
参考書	世界の熱帯魚、水草 楽しい熱帯魚、							
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修の ポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス ・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	水生生物Ⅲ		担当者	細川	学科	ペット総合科 ペットアドバイザー コース	開講期	通年
区分	アドバイザー分野 理論／実習	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日	月
						時限	3, 4	
授業の概要	アクアリウムの管理・実践							
学習目的	水草の取り扱いと熱帯魚の性質を知り、アクアリウムの組み立てからレイアウトの完成をさせる。							
学習目標	1人に1つの水槽（基本60cm水槽）を管理し、レイアウト全ての作品を作り上げる。 水草の定着から、流木・アクセサリを使用してのアレンジができる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	アクアリウムの応用		実習の進め方、前年水槽の清掃 水槽の種類、ガラス水槽とアクリル水槽 短所と長所					
第2回	レイアウトの全体構成・配置		アクアリウムとアクアテラリウム レイアウト					
第3回	水草の取り扱い アクアセラピーとは		取り扱う水草の種類、前景・中景・後景 アクアセラピーについて					
第4回	熱帯魚の選択 混泳を考える		熱帯魚の組み合わせ					
第5回	実践（実習）（1）		水槽の組み立て①					
第6回	実践（実習）（2）		水槽の組み立て②					
第7回	実践（実習）（3）		フィルター・装置の設置					
第8回	買い付け		各水槽のレイアウトを考え自分達のイメージにあった熱帯魚と水草を購入する					
第9回	実践（実習）（4）		光合成と二酸化炭素、発酵式二酸化炭素について 水草のレイアウト					
第10回	実践（実習）（5）		水草の植え付け、ウィローモスの活着					
第11回	実践（実習）（6）		全体での水槽のレイアウト					
第12回	実践（実習）（7）		水槽の全体のイメージから、より近づける為にトリミングを行う					
第13回	実践（実習）（8）		水槽のメンテナンス① 食用魚について					
第14回	実践（実習）（9）		全体での水槽のレイアウト					
第15回	復習		熱帯魚と水草の名前の復習					
第16回	実践（実習）（10）		水槽のメンテナンス② 大型魚類について					
第17回	レイアウトの構成（1）		自分の水槽の始めからの立ち上げ					
第18回	レイアウトの構成（2）		レイアウト決めと水槽の組み立て準備					
第19回	実践（実習）（11）		水の管理 アクセサリ、流木の管理とレイアウト					
第20回	校外学習		アクアリウム・ショップ見学					
第21回	買い付け		各水槽のレイアウトを考え自分達のイメージにあった熱帯魚と水草を購入する					
第22回	実践（実習）（12）		全体での水槽のレイアウト① 魚の病気について					
第23回	実践（実習）（13）		全体での水槽のレイアウト② 魚の病気（治療と病魚薬）					
第24回	実践（実習）（14）		水槽のメンテナンス③					
第25回	実践（実習）（15）		水槽のメンテナンス④					
第26回	実践（実習）（16）		作品の仕上げ①					
第27回	実践（実習）（17）		作品の仕上げ②					
第28回	実践（実習）（18）		作品の維持と管理①					
第29回	実践（実習）（19）		作品の維持と管理②					
第30回	実践（実習）【添削】		作品のまとめ・総仕上げ (自分の作品の展示紹介)					
教科書	観賞魚大図鑑							
参考書	世界の熱帯魚、水草 楽しい熱帯魚、							
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	動物行動学Ⅱ		担当者	光野	学科	ペット総合科 ペットアドバイザー	開講期	通期
区分	アドバイザー分野 理論	選択必須	単位 (時間)	2 60	学年	2年	曜日 時限	水 1
授業の概要	人の生活の中で、最も近い位置で暮らしている犬・猫の様々な情報を読み取り問題となる行動を観察・記録・分析を実践することで、解決方法を導く。 生体・生理的状態・環境刺激などの要因を分析したうえで、飼い主指導に活かす。 1年次の行動生態や行動分類を活用し、2年次は応用とする。							
学習目的	それぞれの家庭で理想的な育成は異なるが、双方の幸せと現代の人間社会で暮らす動物達の置かれている実情を知ることにより、何が問題で何が問題ではないのかを知り、育成方法、問題行動を考える。 動物へのトレーニングだけでなく、飼い主教育までしっかりと考えて発言でき、また、高齢動物での行動変化（問題行動）を把握し、答えを導き出せるスタッフを目指す。							
学習目標	どれだけ知識があっても観察力と考察力が伴わないと現場では役に立たないので、状況判断を行うことができ、活用場面の把握ができるスタッフになることを目標とする。							
授業計画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	1年次の行動学理解度確認		行動の定義と機能分類 なぜ、1年次の動物行動学が今後必要となるのか					
第2回	行動観察 1		問題行動とはなんなのか 行動の定義と原因の分析					
第3回	行動観察 2		原因分析から行動を測定し、記録をつけ計画をたてる					
第4回	行動観察 3		SMART目標の活用。計画に組み込む。					
第5回	行動と環境 1		行動の強化・弱体化・消去などの種類と使い方 誘導と報酬					
第6回	行動と環境 2		行動の強化・弱体化・消去などの種類と使い方 誘導と報酬					
第7回	問題行動 1		演習問題の行動から推測と予想をたて、計画をたてる。 解決方法を導き出す。				グループワーク	
第8回	問題行動 2		演習問題の行動から推測と予想をたて、計画をたてる。 解決方法を導き出す。				グループワーク	
第9回	問題行動 3		演習問題の行動から推測と予想をたて、計画をたてる。 解決方法を導き出す。				グループワーク	
第10回	問題行動 4		演習問題から原因を分析し、計画をたてる。 適切な対処方法を導き出す。				グループワーク	
第11回	問題行動 5		演習問題から原因を分析し、計画をたてる。 適切な対処方法を導き出す。				グループワーク	
第12回	問題行動 6		演習問題から原因を分析し、計画をたてる。 適切な対処方法を導き出す。				グループワーク	
第13回	理解度確認・振り返り		行動・問題行動の理解度確認 前期末試験に活かす					
第14回	確認テスト		確認テスト実施					
第15回	前期振り返り・確認テスト解説		これまでの振り返りを行うことで後期の授業に活かす 動物行動学後期に進む					
第16回	犬と猫のコミュニケーション 行動 1		犬と猫のコミュニケーション 違いとその行動の意味					
第17回	犬と猫のコミュニケーション 行動 2		行動の目的とその意味					
第18回	犬と猫のコミュニケーション 行動 3		犬・猫特有の行動					
第19回	高齢犬・猫 1		老化と行動異常					
第20回	高齢犬・猫 2		高齢による行動変化からみた生活環境					
第21回	高齢犬・猫 3		高齢により衰える部分と維持される部分					
第22回	高齢犬・猫 4		高齢犬・猫との暮らしを考えたトレーニング					
第23回	適正飼養 1 応用		動物行動学で学んだ内容を振り返り、飼い主指導に活かす					
第24回	適正飼養 2 応用		動物行動学で学んだ適正飼養に必要な知識、考え方をまとめ、 飼い主指導に活かす					
第25回	適正飼養 3 応用		動物行動学で学んだことを活かし、飼い主様に適正なアドバイスが でき、犬・猫が心身ともに健康な生活が送れるよう知識を役立てる					
第26回	適正飼養 4 応用		動物行動学で学んだことを活かし、飼い主様に適正なアドバイスが でき、犬・猫が心身ともに健康な生活が送れるよう知識を役立てる					
第27回	適正飼養 5 応用		動物行動学で学んだことを活かし、飼い主様に適正なアドバイスが でき、犬・猫が心身ともに健康な生活が送れるよう知識を役立てる					
第28回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明	
第29回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験	
第30回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説	
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修の ポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス ・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	小動物看護学		担当者	北村	学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	専門科目	選択	単位 (時間)	2 60	学年	2年 アドバイザー コース	曜日	水
							時限	4
授業の概要	動物看護師から、ペットアドバイザーに知っておいてほしい小動物の疾病、それを防ぐための飼育方法等について学ぶ。							
学習目的	ペットショップで取り扱う代表的な小動物の生態・習性、飼養・保定方法、代表的な疾病を各小動物ごとに説明できる。ペットショップでお客様に対して、各動物の起こりやすい病気を踏まえて紹介することができる。							
学習目標	ウサギの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 ハムスターの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 フェレットの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 モルモットの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 ハリネズミの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 チンチラの生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。 鳥の種類や生態・習性、飼養方法、代表的な疾病を説明でき、優しく持つ（保定する）ことができる。							
授業計画								
回	主題		授業目標				備考	
第1回	小動物(エキゾチックアニマル)とは？ 《1年次の復習》		小動物(エキゾチックアニマル)とはどのような動物をいうか説明できる。				この授業の流れについての説明	
第2回	食性とは？		動物食性と植物食性の違いを説明できる。 「生物濃縮」が説明でき、具体例を1つ挙げられる。					
第3回	ウサギってどんな動物？		ウサギの形態的特徴・生態について説明できる。					
第4回	ウサギの正しい飼い方		ウサギを飼うにあたって、必要な道具やケージなど、正しいとされる飼育方法について説明できる					
第5回	ウサギの代表的な疾病 ウサギの保定		ウサギの代表的な疾病を3つ以上、説明ができ、ウサギの持ち方や保定ができる。					
第6回	ウサギをお勧めする。		学んできた「ウサギ」についてをまとめ、3分で「ウサギ」の飼育時に気を付けることを説明できる。				グループワーク	
第7回	ハムスターってどんな動物？		ハムスターの形態的特徴・生態について説明できる。					
第8回	ハムスターの正しい飼い方		ハムスターを飼うにあたって、必要な道具やケージなど、正しいとされる飼育方法について説明できる					
第9回	ハムスターの代表的な疾病 ハムスターの保定		ハムスターの代表的な疾病を3つ以上、説明ができ、ハムスターの持ち方や保定ができる。					
第10回	ハムスターをお勧めする。		学んできた「ハムスター」についてをまとめ、3分で「ハムスター」の飼育時に気を付けることを説明できる。				グループワーク	
第11回	モルモットってどんな動物？ モルモットの正しい飼い方		モルモットの形態的特徴・生態について説明でき、必要な道など、正しいとされる飼育方法について説明できる					
第12回	モルモットの代表的な疾病 モルモットの保定		モルモットの代表的な疾病を3つ以上、説明ができ、モルモットの持ち方や保定ができる。					
第13回	モルモットをお勧めする。		学んできた「モルモット」についてをまとめ、3分で「モルモット」の飼育時に気を付けることを説明できる。				グループワーク	
第14回	チンチラってどんな動物？ チンチラの正しい飼い方		チンチラの形態的特徴・生態について説明でき、必要な道など、正しいとされる飼育方法について説明できる					
第15回	チンチラの代表的な疾病 チンチラの保定		チンチラの代表的な疾病を3つ以上、説明ができ、チンチラの持ち方や保定ができる。					
第16回	チンチラをお勧めする。		学んできた「チンチラ」についてをまとめ、3分で「チンチラ」の飼育時に気を付けることを説明できる。				グループワーク	
第17回	フェレットってどんな動物？ フェレットの正しい飼い方		フェレットの形態的特徴・生態について説明でき、必要な道など、正しいとされる飼育方法について説明できる					
第18回	フェレットの代表的な疾病 フェレットの保定		フェレットの代表的な疾病を3つ以上、説明ができ、フェレットの持ち方や保定ができる。					
第19回	フェレットをお勧めする。		学んできた「フェレット」についてをまとめ、3分で「フェレット」の飼育時に気を付けることを説明できる。				グループワーク	
第20回	ハリネズミってどんな動物？ ハリネズミの正しい飼い方		ハリネズミの形態的特徴・生態について説明でき、必要な道など、正しいとされる飼育方法について説明できる					
第21回	ハリネズミの代表的な疾病 ハリネズミの保定		ハリネズミの代表的な疾病を3つ以上、説明ができ、モルモットの持ち方や保定ができる。					
第22回	ハリネズミをお勧めする。		学んできた「ハリネズミ」についてをまとめ、3分で「ハリネズミ」の飼育時に気を付けることを説明できる。				グループワーク	
第23回	鳥ってどんな生き物？①		哺乳類と鳥類の違いが5つ以上説明できる。 呼吸器の特徴について説明できる。					
第24回	鳥ってどんな生き物？② 小鳥の正しい飼い方		消化器の特徴について説明できる。 小鳥の正しいとされる飼育方法について説明できる					
第25回	小鳥の代表的な疾病 小鳥の保定		小鳥の代表的な疾病を3つ以上、説明ができ、鳥の持ち方や保定ができる。					
第26回	飼養されている鳥の品種		飼養されている鳥の品種(大型・猛禽類も含む。)を各個人で調べ(30分)、をディスカッション行い、ユース全体で共有する。				グループワーク	
第27回	小鳥をお勧めする。		学んできた「小鳥」についてをまとめ、3分で「小鳥」の飼育時に気を付けることを説明できる。				グループワーク	
第28回	試験範囲復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明	
第29回	後期テスト		30分後期まとめ、5分の休憩後、50分テスト、5分で回収				単位認定試験	
第30回	振り返り		後期テストの答え合わせ、1年間の総まとめ				試験解説	
教科書	日東書院出版「小動物の飼い方図鑑」河野 朝城監修							
参考書	緑書房出版「カラーアトラスエキゾチックアニマル哺乳類編・鳥類編」著							
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	犬種・猫種学Ⅱ		担当者	奥田	学科	ペット総合科 アドバイザーコース	開講期	後期
区分	アドバイザー分野 理論	選択必須	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年次	曜日 時限	1
授業の概要	各グループの犬種の専門的な知識を覚える。							
学習目的	各犬種の習性や特徴を細かくスタンダードを分析し覚える。							
学習目標	それぞれの犬種のスタンダードを熟知し、お客様の質問等に的確なアドバイスができるようになる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	1年次に履修したことの復習(1)		犬種標準とは何か？ 第1～5グループについて					
第2回	1年次に履修したことの復習(2)		第4～10グループについて					
第3回	第1グループ		シープ・ドッグ&キャトル・ドッグ(スイス・キャトル・ドッグを除く)グループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など					
第4回	第2グループ		ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種 スイス・マウンテン・ドッグ&スイスカトル・ドッググループの関連犬種の細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など					
第5回	第3グループ		テリアグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など					
第6回	第4グループ		ダックス・フンドグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など					
第7回	第5グループ		スピッツ&プリミティブ・タイプグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など					
第8回	第6グループ		セントハウンド&関連犬種グループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など					
第9回	第7グループ		ポインティング・ドッググループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の販売価格・画像・飼養難易度など					
第10回	第8グループ		レトリバー、フラッシング・ドッグ、ウォータードッググループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の価格・画像・飼養難易度など					
第11回	第9グループ		コンパニオン&トイグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の価格・画像・飼養難易度など					
第12回	第10グループ		サイト・ハウンドグループの細かい特徴・市場流通の現状、人気ランキング上位仔犬の価格・画像・飼養難易度など					
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習				試験範囲説明	
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り、受験				単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説、1年間の総まとめ				試験解説	
教科書	最新犬種図鑑、猫の教科書							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ		担当者	担任	学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	キャリア基礎分野 理論	選択必須	単位 (時間)	2 (60)	学年	2年次	曜日 時限	木 1
授業の概要	就職活動に実践で活用できる内容の学習と習得。							
学習目的	就職内定100%							
学習目標	就職活動に関する必要な知識を学び、個々の就労意識を高め、就職活動に役立てる							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	ロングホームルーム (1)		年間行事予定確認、その他諸々の連絡・注意事項、グループウェア入力				担任	
第2回	実務実習 (1)		インターンシップ希望調査Ⅰ (就職先を意識した希望先を選定、個人面談)				担任	
第3回	実務実習 (2)		インターンシップ希望調査Ⅱ (希望先をもってグループ面談)				担任・CS室 学科長・教務課長	
第4回	ロングホームルーム (2)		ドッグショー課題提出&グループワーク (発表)				担任	
第5回	社会人基礎学 (1)		履歴書の書き方				CS室&担任	
第6回	社会人基礎学 (2)		面接の流れ				CS室&担任	
第7回	社会人基礎学 (3)		求人票の見方 ※イオンペットのエントリー開始時期				CS室&担任	
第8回	社会人基礎学 (4)		ビジネスコミュニケーションの基本スキル 第2章 1・2				担任	
第9回	社会人基礎学 (5)		ビジネスコミュニケーションの基本スキル 第2章 3・4				担任	
第10回	社会人基礎学 (6)		ビジネスコミュニケーションの基本スキル 第2章 5・6				担任	
第11回	実務実習 (3)		インターンシップに伴う就業報告書の提出&発表				担任	
第12回	実務実習 (4)		就職活動に伴うグループ面談実施 (インターンシップ先への就職希望有無等)				担任・CS室 学科長・教務課長	
第13回	社会人基礎学 (7)		ビジネスコミュニケーションの基本スキル 第2章 7・8				担任	
第14回	就職活動報告 (1)		夏期休暇中の就職活動に関する個別報告会 ※グループ面談実施				担任・CS室 学科長・教務課長	
第15回	ロングホームルーム (3)		前期総括及びその他諸々の連絡・注意事項 (海外研修など)				担任	
第16回	就職活動報告 (2)		就職活動に関する個別報告会/面接事例集100選 (22~43) ※グループ面談実施				担任・CS室 学科長・教務課長	
第17回	就職活動報告 (3)		就職活動に関する個別報告会/面接事例集100選 (44~67) ※グループ面談実施				担任・CS室 学科長・教務課長	
第18回	ロングホームルーム (4)		ほりかわ祭準備及び確認事項 ※必要に応じて個人面談実施				担任	
第19回	ロングホームルーム (5)		海外研修説明会、その他ほりかわ祭準備 ※必要に応じて個人面談実施				担任	
第20回	卒業制作発表会 (1)		6~8名 1グループ 合計10グループ編成会議 ※グループ別の発表テーマのディスカッション				担任	
第21回	ロングホームルーム (6)		海外研修課題作成とグループワーク (海外研修不参加学生は就職活動報告)				担任・CS室 学科長・教務課長	
第22回	ロングホームルーム (7)		ドッグショーについてのおさらいと課題作成方法				担任	
第23回	ロングホームルーム (8)		海外研修課題提出及び発表会				担任	
第24回	ロングホームルーム (9)		ドッグショー課題提出及び発表				担任	
第25回	ロングホームルーム (10)		愛玩動物飼養管理士資格試験対策自習				担任	
第26回	就職活動報告 (4)		就職活動に関する個別報告会/面接事例集100選 (68~100) ※グループ面談実施				担任・CS室 学科長・教務課長	
第27回	卒業制作発表会 (2)		各グループ別の発表準備とタイムスケジュール検討 (発表順番、プログラム、必要準備品など)				担任	
第28回	卒業制作発表会 (3)		各グループ別の発表準備とタイムスケジュール検討 (発表内容の仕上げなど)				担任	
第29回	ロングホームルーム (11)		単位認定試験対策自習				担任	
第30回	卒業制作発表会 (4)		卒業発表会リハーサル				担任	
教科書	就職NAVIノート、実践! キャリア・コミュニケーション							
参考書								
成績評価	単位認定 出席率 80%以上と課題提出をもって、合否判定を行う							
履修のポイント	コミュニケーション力を最重要とする							
オフィス・パワー	動物業界のアルバイトを通じて、実践的に学ぶ							

平成30年度 シラバス

科目名	基本IT技術 I		担当者	吉野・小島	学科	ペット総合	開講期	前期
区分	キャリア基礎分野	選択必須	単位	2	学年	2年次	曜日	水・金
	講義・実習		(時間)	(60)			時限	1・2、(3・4)
授業の概要	コンピュータを利用した事務作業に必要な文書の作成やマナーについて学習。必要な技術を効率良く行えるよう繰り返し練習する。							
学習目的	必要に応じたコンピュータの利用技術の取得。							
学習目標	①コンピュータの基礎を理解し、メールやフォルダの作成ができるようにする。 ②Wordの操作を学習し、ビジネス文書や見栄えの良い文書を作成できるようにする。 ③ビジネス文書やビジネスメールについての構成やマナーを理解する。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	コンピュータの基本操作とWordの基本		ログイン、メールアドレス登録、課題提出の仕方。Wordの画面構成と文字入力					
第2回	ビジネス文書の作成		ビジネス文書・メールの基礎知識 ページ設定、文字修飾について					
第3回	文書の作成		挨拶文の挿入、段落番号、インデントやタブについて					
第4回	表の作成		表を挿入し、編集する					
第5回	表の編集		表の体裁を整える					
第6回	表現力アップ		ワードアートや画像などの挿入・編集					
第7回	表現力アップ		図形、テキストボックスの作成・編集					
第8回	ビジュアル文書の作成		SmartArtグラフィック、ページ罫線の挿入・編集					
第9回	長文の作成		ヘッダー・フッター、段組みについて					
第10回	プレゼンテーション資料の基本		画面構成とスライドの作成					
第11回	オブジェクトや表の挿入・編集		画像や図形・図表、表の挿入と編集					
第12回	特殊効果の設定		画面の切り替え効果やアニメーション効果					
第13回	プレゼンテーションと試験範囲		プレゼンテーションについて 試験対策のポイント、確認				試験範囲説明	
第14回	試験実施		試験の実施				単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説				試験解説	
教科書	情報基礎 Word & Excel <u>2013</u>							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント オフィス・アワー	出席率80%以上が前提となる							

平成30年度 シラバス

科目名	基本 I T 技術 II		担当者	吉野・小島	学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	キャリア基礎分野	選択必須	単位	2	学年	2年次	曜日	水・金
	講義・実習		(時間)	(60)			時限	2、(3)、(4)
授業の概要	コンピュータを利用したビジネス作業に必要なプレゼンテーション・表計算について学習。必要な技術を効率良く行えるよう繰り返し練習する。							
学習目的	必要に応じたコンピュータの利用技術の取得。							
学習目標	①Power Pointを利用したプレゼンテーション資料の作成とプレゼンテーションについて理解する。 ②Excelを使った表計算やグラフの作成ができるようにする。 ③データベース機能についての理解と必要なデータを効率よく管理・運用できるようにする。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	プレゼンテーションの作成	プレゼンテーションの作成						
第2回	プレゼンテーションの作成	プレゼンテーションの作成						
第3回	プレゼンテーションの実施	プレゼンテーションの実施						
第4回	エクセルの基礎	エクセルの基本操作と簡単な表の作成						
第5回	エクセルの基本	表の作成、演算子や数式について						
第6回	数式の利用	関数の理解、オートSUMボタンを利用した関数の利用						
第7回	割合計算と関数の利用	絶対参照と相対参照、関数の挿入ボタンを利用した関数について						
第8回	グラフ	グラフの作成・編集						
第9回	条件で判断	I F関数とその他の関数						
第10回	エラー処理と表の作成	エラーの対処と表の作成						
第11回	データベース機能	並べ替え、データの抽出、条件付き書式について						
第12回	差し込み印刷	差し込み印刷						
第13回	試験範囲の復習	試験対策のポイント、復習					試験範囲説明	
第14回	試験実施	試験の実施					単位認定試験	
第15回	試験問題の解答、解説	試験問題の答え合わせと解説					試験解説	
教科書	情報基礎 Word & Excel <u>2013</u>							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点60%、提出物&授業態度点30%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	総合学習Ⅱ		担当者		学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	キャリア基礎分野	選択必須	単位 (時間)	1	学年	2年次	曜日	
	理論			(30)			時限	
授業の概要	普段、学内では体験できない事を、外部の施設・イベントに参加をする。							
学習目的	外部の施設・イベントに参加をし、専門職者としての技術と人間力を高める。							
学習目標	① 普段扱わない生き物の管理を行う。 ② 実社会に触れることによって、学習意欲が向上する。 ③ 集団行動を身につける。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	校外学習	JKCドックショー、動物感謝デー、盲導犬センター、インターナショナルドックショー等のイベントに参加、または研修を行い、学内では体験できない事を行う。						
第2回								
第3回								
第4回								
教科書	特にありません							
参考書	特にありません							
成績評価	単位認定 60点以上 実務記録提出							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	ペットアロマ		担当者		学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年	曜日 時限	
授業の概要	ペットアロマを学び、実習を通じて実際にモデル犬に使用して実践できる。							
学習目的	どのようにペットアロマを取り入れると効果的かを覚える。							
学習目標	精油・キャリアオイル・クレイの効能を理解し、効率的に使用することができる。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ペットアロマセラピーとは	アロマの概念 精油の使用方法・抽出方法						
第2回	精油を使用するにあたって(1)	精油の取り込みルート 皮膚・血液・嗅覚						
第3回	精油を使用するにあたって(2)	ストレス反応と精油の取り入れ方						
第4回	精油に含まれる各成分	成分分析(各種作用(精神的・肉体的)について分析を行う)						
第5回	精油に含まれる各成分	成分分析での精油の選び方						
第6回	精油(1)	精油のブレンド方法と精油の選び方						
第7回	精油(2)	精油のブレンド方法と精油の選び方						
第8回	キャリアオイル(1)	代表的なキャリアオイルの種類とその効果 飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の違い						
第9回	キャリアオイル(2)	キャリアオイルの種類と効果 キャリアオイルの選び方						
第10回	クレイ	クレイの種類と成分 使用方法						
第11回	アロマ実習(1)	パッドクリーム①制作						
第12回	アロマ実習(2)	バスボム制作						
第13回	アロマ実習(3)	イヤークロム クリーム制作						
第14回	アロマ実習(4)	ブラッシングスプレー パッドクリーム②制作						
第15回	ペットアロマ	マッサージとの併用について まとめ						
教科書	ホリスティックケア							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 日常の課題点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	ペット経営学		担当者	中村	学科	ペット総合科	開講期	半期
区分	社会人基礎力分野 理論	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年	曜日 時限	
授業の概要	美容をビジネスの観点から見ていく。サロン経営、店舗運営に直結する内容を講義するとともに、最新の美容業界の動きもつねにチェックする。授業は座学を中心とする。また、理解しやすいよう、適宜視覚教材を利用する。							
学習目的	美容業界は今後ますます競争が激化していく状況の中で、今後サロンが生き残っていくためには、経営・マネジメントの知識がどうしても必要となる。将来サロンを持つときに、あるいは店長となって店舗を管理する立場になったときに必要となる経営・マネジメントの基礎を覚える。経営・マネジメントの知識は決して経営者や店長となって、はじめて必要となるものではなく、実はサロンに就職したときからすでに必要となってくるものである。競争が厳しい美容業界においては、経営・マネジメントの視点を持つことも、これからの美容師のあるべき姿で、今のうちからしっかりとビジネス感覚を身につけた人材になる。							
学習目標	美容業界をビジネスの観点から分析できる力を身につける。就職したときに、そして将来サロンを持つときに、店長になったときに役立つ知識とビジネス感覚を身につける。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	起業、独立開業に必要なマインド(1)		フレームワークの復習 ①					
第2回	起業、独立開業に必要なマインド(2)		フレームワークの復習 ②					
第3回	事業計画書とは(1) (骨組を考える)		企業概要、経営理念、事業の目的、					
第4回	事業計画書とは(2) (骨組を考える)		将来ビジョン					
第5回	事業計画書の作成方法(1) 事業内容を明確にする		市場環境と商品、サービスの特徴					
第6回	事業計画書の作成方法(2) 事業内容を明確にする		販売、提供価格の設定					
第7回	事業計画書の作成方法(3) 事業内容を明確にする		マーケティング戦略					
第8回	事業計画書の作成方法(4) 事業内容を明確にする		仕入れ方法					
第9回	事業計画書の作成方法(5) 事業内容を明確にする		事業上の問題点、リスクの検討					
第10回	事業計画書の作成方法(6) 事業内容を明確にする		競合他社分析 ①					
第11回	事業計画書の作成方法(7) 事業内容を明確にする		競合他社分析 ②					
第12回	事業計画書の作成方法(8) 事業内容を明確にする		組織、人員計画 ①					
第13回	事業計画書の作成方法(9) 事業内容を明確にする		組織、人員計画 ②					
第14回	事業計画書の作成方法(10) 事業内容を明確にする		事業スケジュール					
第15回	事業計画書の作成方法(11) お金の裏付け		事業、商品別売り上げ利益計画					
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 60点以上 出席率 80%以上							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	フードアドバイザー		担当者	光野	学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	社会人基礎力分野	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年	曜日	
	時限							
授業の概要	フードアドバイザーとしての最低限必要な、栄養学、ペットフード等について学習する。							
学習目的	フードアドバイザーとしての最低限必要な知識を習得する。							
学習目標	フードアドバイザーとして、飼い主さん等の相談に適切に対応することができる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	ペットフードアドバイザーとは		ペットフードアドバイザーとは					
第2回	栄養学 1		栄養と栄養素					
第3回	栄養学 2		からだのしくみ					
第4回	栄養学 3		炭水化物・脂質・タンパク質					
第5回	栄養学 4		ビタミン、ミネラル他					
第6回	栄養学 5		エネルギーと養分要求量					
第7回	栄養学 6		ライフステージと栄養について					
第8回	栄養学 7		主な犬種・猫種の食事について					
第9回	ペットフードについて 1		ペットフードの成り立ち他					
第10回	ペットフードについて 2		ペットフードの製造・加工法、表示等					
第11回	サプリメントと手作り食		サプリメントと手作り食について					
第12回	対面アドバイス		お客様への対応とフード販売に関するQ & A					
第13回	試験範囲の復習		試験対策のポイント、復習					
第14回	振り返り授業・試験実施		受験前の振り返り・受験					
第15回	試験問題の解答、解説		試験問題の答え合わせと解説					
教科書	フードアドバイザー							
参考書								
成績評価	単位認定 60点以上 出席率 80%以上							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	小動物販売士		担当者	金森	学科	ペット総合科	開講期	通年
区分	社会人基礎力分野 理論	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1/2年次	曜日 時限	
授業の概要	販売に必要な商品知識、販売技術、仕入れ、在庫管理、マーケティングなどの専門的技術を身につける							
学習目的	高い信頼と評価のある、流通業界で唯一の公的資格取得することにより、販売のプロになる。							
学習目標	販売士検定3級							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	販売士資格取得のメリット		販売士資格取得のメリットについて					
第2回	小売業の類型（1）		流通における小売業の基本的役割。					
第3回	小売業の類型（2）		小売業と国際化、流通経路にあける小売業のポジショニング					
第4回	小売業の類型（3）		流通経路における卸売業のポジショニング					
第5回	小売業の類型（4）		製造業の流通経路政策					
第6回	形態別小売業の基本的役割（1）		組織小売業の種類と特徴①					
第7回	形態別小売業の基本的役割（2）		組織小売業の種類と特徴②					
第8回	形態別小売業の基本的役割（3）		組織小売業の種類と特徴③					
第9回	販売形態の種類と特徴		店舗販売と無店舗販売の特徴					
第10回	店舗形態別小売業の基本的役割（1）		店舗形態別小売業の基本知識					
第11回	店舗形態別小売業の基本的役割（2）		ホームセンター・ドラッグストア コンビニエンスストア・スーパーセンター					
第12回	チェーンストアの基本的役割		チェーンストアについて					
第13回	商業集積の基本的役割と仕組み		商店街とショッピングセンターの違い					
第14回	マーチャндаイジング（1）		商品の基本知識					
第15回	マーチャндаイジング（2）		商品計画の基礎知識、商品カテゴリー構成・棚割とディスプレイ					
第16回	マーチャндаイジング（3）		仕入れ計画の基礎的役割、発注の基礎知識					
第17回	マーチャндаイジング（4）		データによる在庫管理、ディスプレイの役割					
第18回	マーチャндаイジング（5）		用語説明、テキスト解説①					
第19回	マーチャндаイジング（6）		用語説明、テキスト解説②					
第20回	マーチャндаイジング（7）		利益追求の基礎知識					
第21回	ストアオペレーション		ストアオペレーション、包装の説明					
第22回	マーケティング（1）		ディスプレイの基本的役割					
第23回	マーケティング（2）		人為的販売の基本的な考え方					
第24回	マーケティング（3）		顧客満足経営の基礎知識、マーケティングリサーチ					
第25回	販売促進の基礎的役割		重要事項					
第26回	出展の基礎知識		売り場作り					
第27回	販売事務・計数管理の基本的知識		売買損益の計算法					
第28回	検定試験対策（1）		過去問題（模擬試験）、解説①					
第29回	検定試験対策（2）		過去問題（模擬試験）、解説②					
第30回	検定試験対策（3）		過去問題（模擬試験）、解説③					
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 60点以上 出席率 80%以上							
履修のポイント								
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	ホリスティック		担当者		学科	ペット総合科	開講期	後期
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年	曜日 時限	
授業の概要	自然治癒力を高め、心と身体全体をとらえ、健康を管理する必要性と方法を覚える。東洋医学を踏まえた指圧、各種マッサージの実技を身につける。							
学習目的	副作用の強い治療や薬剤の耐性、高齢犬に対する麻酔などのリスクが高く、より優しい治療を求める飼い主が多くなった中、マッサージなどの代替治療（ホリスティック）を学ぶことにより健康に対する知識を身につける。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホリスティックケアとは何かを覚える。 2. Tタッチの働きと方法、効果を覚える。 3. リンパマッサージの方法と効果を理解し、身につける。 4. 経絡とツボを知ることにより、症状を改善できることを覚える。 							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	ホリスティック総論		ホリスティックとは何か、自然治癒力とは何かを覚える					
第2回	Tタッチとは		Tタッチの働き、作用、方法					
第3回	Tタッチの種類（1）		ノアのマーチ、アバロニ、クラウデッドレパードのTタッチ					
第4回	Tタッチの種類（2）		タイガー、ラマ、パイソン、タランチュラのTタッチ					
第5回	Tタッチの種類（3）		耳のTタッチ、口のTタッチ、しっぽのTタッチ					
第6回	Tタッチで問題解決		それぞれの問題行動の軽減と解決のためのセッションの作り方					
第7回	Tタッチの応用		我が家の犬にあったTタッチセッションを組み立てよう					
第8回	リンパマッサージ（1）		リンパの仕組み、効果、注意すること					
第9回	リンパマッサージ（2）		基本テクニック、基本マッサージの方法					
第10回	東洋医学の仕組み		東洋医学の哲学、病気の見きわめ方					
第11回	経絡と経穴		経絡とは、経穴とは、14経絡の流れ					
第12回	ツボマッサージ各論（1）		症状別マッサージ方法① 肩こり、腰痛、風邪					
第13回	ツボマッサージ各論（2）		症状別マッサージ方法② 肥満、やる気、イライラ					
第14回	ツボマッサージ各論（3）		症状別マッサージ方法③ 緊張をほぐす、熱中症、老化、皮膚のかゆみ					
第15回	ツボマッサージ各論（4）		症状別マッサージ方法④ 食欲不振、便秘・下痢、心臓病、目のトラブル、吐き気、尿のトラブル					
教科書	ホリスティック							
参考書								
成績評価	単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 日常の課題点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	出席率80%以上が前提となる							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	愛玩動物飼養管理学特論		担当者	光野	学科	ペット総合科	開講期	通期
区分	ペット総合分野 理論	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1/2年次	曜日 時限	
授業の概要	愛玩動物飼養管理士試験【1級】に関連する内容を覚える。							
学習目的	愛玩動物飼養管理士1級の合格レベル、知識を覚える。							
学習目標	愛玩動物飼養管理士1級に合格する。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	愛玩動物飼養管理学 (1)	動物愛護論Ⅱ ①						
第2回	愛玩動物飼養管理学 (2)	動物愛護論Ⅱ ②						
第3回	愛玩動物飼養管理学 (3)	動物関係法令Ⅱ ①						
第4回	愛玩動物飼養管理学 (4)	動物関係法令Ⅱ ②						
第5回	愛玩動物飼養管理学 (5)	動物の行動と社会 ①						
第6回	愛玩動物飼養管理学 (6)	動物の行動と社会 ②						
第7回	愛玩動物飼養管理学 (7)	動物の遺伝と繁殖生理 ①						
第8回	愛玩動物飼養管理学 (8)	動物の遺伝と繁殖生理 ②						
第9回	愛玩動物飼養管理学 (9)	動物の疾病とその予防 ①						
第10回	愛玩動物飼養管理学 (10)	動物の疾病とその予防 ②						
第11回	愛玩動物飼養管理学 (11)	総復習 試験対策 ①						
第12回	愛玩動物飼養管理学 (12)	総復習 試験対策 ②						
第13回	愛玩動物飼養管理学 (13)	動物の飼養管理と公衆衛生						
第14回	愛玩動物飼養管理学 (14)	自然と人間						
第15回	愛玩動物飼養管理学 (15)	犬と猫の栄養学						
教科書	愛玩動物飼養管理士【1級】教本 第1・2巻							
参考書								
成績評価	各項目では、理解力テストを行う。 単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 理解力テスト点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。							
履修のポイント	愛玩動物飼養管理士資格試験受験後につき、学年末試験はなし							
オフィス・アワー	各項目では、理解力テストを行う。							

平成30年度 シラバス

科目名	実務研修Ⅱ		担当者		学科	ペット総合科	開講期	半期
区分	社会人基礎力分野 実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年次	曜日 時限	
授業の概要	実際のペットショップ・動物病院に勤務を体験（研修）し、これを通して、専門知識を実社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要かを考える能力を身に付ける。							
学習目的	(1) 就職を考えさせ早期就職内定へ繋げる。 (2) ペット業界での自分の適性や仕事の内容について自己分析する。 (3) ペット業界への関心・就職への意欲を高め、日々の学校生活に対する意欲を高める。							
学習目標	1. ペットショップ・動物病院の実践的経験を積む 2. 職業意識を持つ 3. いろいろな人の持つ考え方や行動に触れることにより、学生としてではなく、社会人としてのマナーや責任感を身につけることができ、実践的な経験により、自主的に行動ができる人材になる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	8月（1年）		サロン訪問					
第2回	9月上旬（1年）		インターンシップについての目的について確認					
第3回	10月上旬（1年）		ペットショップ・動物病院研究インターシップ先希望先を提出					
第4回	10月中旬（2年）		インターシップ先の誓約書記入・事前連絡・インターシップ受け入れについてのお願い・依頼の電話連絡を入れる					
第5回～8回	10月中旬（3年）		学生インターンシップ・ペットショップ・動物病院訪問・実務記録を提出する					
第9回	3月（2年）		ペットショップ・動物病院訪問					
第10回	4月上旬（2年）		ペットショップ・動物病院研究インターシップ先の希望調査書を提出、インターシップ先誓約書に記入・事前連絡を入れる					
第11回	5月上旬（2年）		インターンシップについての目的確認・インターシップ受け入れについてのお願いをする。					
第12回～15回	5月中旬（2年）		インターンシップ先のペットショップ・動物病院等訪問実務記録を提出する					
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 60点以上 就業報告書・実務記録・課題等の提出							
履修のポイント	出席100%が前提となる 出席時間不足のための補習は行わず、欠席・時間不足者については振替登校日に課題等をさせる。							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	卒業研究		担当者		学科	ペット 総合科	開講期	半期
区分	社会人基礎力分野 理論／実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	2年次	曜日 時限	
授業の概要	プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表示ができる。							
学習目的	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を覚え、プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に話し方などの口頭表現・身体表現ができる。							
学習目標	1. 論理的に物事を考えられる。 2. 限られた時間の中で、自分の考えが効果的に述べられる。 3. 聞き手に感動を与えるような話し方ができる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	プレゼンテーションとは		プレゼンテーションの種類と定義を覚える					
第2回	コミュニケーションとプレゼンテーション		コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて答えられる					
第3回	プレゼンテーションの目的		紹介のプレゼンテーションができる					
第4回	プレゼンテーション準備と流れ1		聞き手の分析や目的の明確化ができる					
第5回	プレゼンテーション準備と流れ2		プラン作成やツールについてを覚える					
第6回	聴衆に好感を持たれる話し方の基本		聴衆に好感を持たれる話し方の基本ができる					
第7回	バーバル表現		聴衆に好感を持たれる態度、演出法ができる					
第8回	ノンバーバル表現		聴衆に好感を持たれる態度、演出法ができる					
第9回	身近なプレゼンテーション		スピーチ・フリートークができる					
第10回	パブリックスピーキング1		インタビューをする					
第11回	パブリックスピーキング2		会議と司会をする					
第12回	パブリックスピーキング3		学校生活について話してみる					
第13回	説明と説得のプレゼンテーション		グループワーク					
第14回	発表に向けてのリハーサル		発表に向けて、一通り行う					
第15回	プレゼンテーション発表と振り返り		グループ発表					
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 60点以上 プレゼンテーション課題提出							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	サービス接客特論		担当者		学科	ペット 総合科	開講期	半期
区分	社会人基礎力分野 理論	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1/2年次	曜日 時限	
授業の概要	専門的な技術・理論を学び就職に役立てるようになる。							
学習目的	サービス業に従事する者としての心構え、知識、接客待遇を覚える。							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力を始めとするコミュニケーション能力を身につける。 ・立ち居振る舞いやマナーといった人間力を身につける「。 ・出会った一瞬で、その人に似合うのかを見極める完成を養うスタイリングができる。 							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	ホスピタリティー		リッツカールトンのリエンテーション内容					
第2回	席次		応接室・車・エレベーター・エスカレーター・レディファースト					
第3回	お客様へのお茶の出し方		テーブルマナー					
第4回	電話対応の基本		電話対応の基本的な知識を覚える					
第5回	手紙のマナー		正しい手紙の書き方を覚える					
第6回	カウンセリングの技法復習		ほめ上手、褒められ上手のコツ					
第7回	カウンセリング実習		表現力の鍛え方(わかりやすい話し方のコツ) 立ち振る舞い復習: 座り方・上着の脱着・荷物の持ちかた、手の表情(ファイルの持ち方・指さし)ができる			五十嵐先生担当		
第8回	センスアップ実習		体型や似合う色を含めた自己分析&ファッションコンセプトの視覚化(各自雑誌持参)					
第9回	プレゼン(1)		各ファッションコンセプトに基づいた自分の魅力プレゼンテーション①					
第10回	プレゼン(2)		各ファッションコンセプトに基づいた自分の魅力プレゼンテーション②					
第11回	リベラルアート(1)		問題集: ビジネスマナー					
第12回	リベラルアート(2)		問題集: ファッション・スタイル					
第13回	リベラルアート(3)		問題集: 素材・色					
第14回	リベラルアート(4)		問題集: ヒストリー・カルチャー・美容・心理の分野					
第15回	まとめ		試験対策&予備知識					
教科書	パーソナルスタイリスト ファッションマイスター検定2級問題集							
参考書								
成績評価	単位認定: パーソナルファッションマイスター検定準2級 / 前期試験: 60点以上 出席8割以上・ペーパーテスト・授業態度							
履修のポイント	パーソナルスタイリスト ファッションマイスター検定準2級							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネス文章力		担当者		学科	ペット総合科	開講期	半期	
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1/2年次	曜日 時限		
授業の概要	美しい字を書く。 ビジネス文書に関わる知識・技術を実際に活用できる。 手紙・はがきを書くルールやマナーを活用する。								
学習目的	社会人として必要なビジネス文書のマナーとルールを活用して社会生活を送る。								
学習目標	日常的に美しい字を書けるようになる。 ビジネスで必要とされる漢字が書ける。 ビジネス検定2級合格。 社会に通用する手紙・はがきが書けるようになり、実際に送る								
授業計画									
回	主題	授業内容					備考		
第1回	ビジネス文書の必要性を知る	ビジネス文書の必要性を知り、人に伝える事ができる ビジネス文書検定の詳細を知り受験までの計画を立てる							
第2回	ビジネス文書が作成できる(1)	正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く ビジネス文書の書式を知り活用できる							
第3回	ビジネス文書が作成できる(2)	正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く ビジネス文書の書式を知り活用できる							
第4回	ビジネス文書が作成できる(3)	正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く ビジネス文書の書式を知り活用できる							
第5回	ビジネス文書が作成できる(4)	正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 正確で分かりやすい文章が書ける							
第6回	ビジネス文書が作成できる(5)	正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 正確で分かりやすい文章が書ける							
第7回	ビジネス文書が作成できる(6)	正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 正確で分かりやすい文章が書ける							
第8回	ビジネス文書が作成できる(7)	正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 社内文書や社外文書が書けるようになる・取り扱いのルールを覚える							
第9回	ビジネス文書が作成できる(8)	正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 社内文書や社外文書が書けるようになる・取り扱いのルールを覚える							
第10回	ビジネス文書が作成できる(9)	正しい用字・用語を適切に答える事ができる ビジネス文書にふさわしい文字を書く 社内文書や社外文書が書けるようになる・取り扱いのルールを覚える							
第11回	模擬テスト	ビジネス文書検定模擬テスト実施 ・ 解答・解説をしてテスト前の総復習							
第12回	郵便物のルール 電子媒体のビジネス文書	郵便物のルールを知り活用する 電子媒体のビジネス文書のルールとマナーを活用する							
第13回	暑中見舞いを作成する	学習した知識を活用して暑中見舞いを実際に作成して郵送する							
第14回	お礼状を作成する(1)	学習した知識を活用して卒業した高校へお礼状を送る①							
第15回	お礼状を作成する(2)	学習した知識を活用して卒業した高校へお礼状を送る②							
教科書	ビジネス文書検定受験ガイド1・2級								
参考書									
成績評価	検定合格≪50%≫、制作物の完成度≪40%≫、出席≪10%≫、出席回数12回以上(4回目欠席より不可)、・原則として補講は実施しない、・遅刻3回で1回の欠席とする						単位認定 60点以上		
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない								
オフィス・アワー	随時								

平成30年度 シラバス

科目名	論理的思考力		担当者		学科	ペット総合科	開講期	半期	
区分	社会人基礎力分野 理論	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1/2年次	曜日 時限		
授業の概要	日常生活に関する題材を取り上げ、論理的な思考力をつけ、数学的な考察を行える。小学校の算数程度の力だけで楽しみながらできる。								
学習目的	一般にビジネス、つまり仕事におけるコミュニケーション能力とは論理的な表現力を指し、情報の収集、整理・統合、思考そして発信に至るまで論理的であることが要求されるため、今日、社会人として求められる能力の1つであるコミュニケーション能力を数学的思考を通して身につける。								
学習目標	社会に適応しその要求する能力を身につける。学校で受けたすべての知識を忘れ去った後でも、なおかつ一生涯に役に立つような、論理的思考力・表現力をつける。『数学』と『読解力・表現力』は教育の指標としては同じカテゴリーに分類される。つまり、『数学』はまさに『ことばの力』を習得する学問であるとの認識を前提に、自然や日常にひそむ様々な問題を、算数・数学がこの世界・社会で果たしている役割を見つけ、理解する能力を身につける。さらに、現実社会生活を送る市民として、そのさまざまな状況での必要性に合致した方法で数学を活用し、数学とよい関係を結んでいくことのできる能力をつける。								
授業計画									
回	主題	授業内容					備考		
第1回	インド式計算法	2桁の掛け算・割り算・足し算・引き算も驚くほど簡単に計算ができるようになるインド式数学による計算法ができる。							
第2回	天文学的数値の計算	ミクロの世界からマクロの世界まで幅広いレンジの指数計算。銀行預金やローンの金利から音楽の世界、さらには自然界の現象まで							
第3回	地頭力	「答えのない問題を解いていく力」、すなわち地頭力を鍛える5つの方法を覚える。							
第4回	ひとふでがき	一見複雑な問題を、本質的に必要な部分を抽象化し、解析することにより結論を導き出せる。							
第5回	トイレトペーパーの長さを測るには？	問題を解くためにはいろいろな方法があります。見方を変えれば、複雑な問題も簡単に解くことができる。							
第6回	頭の中なら自由に動かせる	問題を解くとき、考える対象が大きくても頭の中でなら自由に動かせる。							
第7回	キーパーソンを探せ	発言の矛盾を見つけ出すには、数学的な論理力が必要である。推理の進め方について覚える。							
第8回	鏡の不思議	鏡は左右は入れかえるのに上下は何故変わらないのか。自然界の右と左と鏡の中の世界の話を書く。							
第9回	偶然を科学する	世の中には偶然と思われる現象がたくさんある。しかし、偶然と思われる現象にも原因があることを覚える。							
第10回	でたらめを科学する	0から10までの数字をでたらめに並べたものを乱数という。乱数を作る方法から、乱数の応用までを活用できる。							
第11回	幸せな結婚	あなたはこれからお見合いをします。目の前に現れる花嫁さん候補はN人。できれば、一番素晴らしい女性を選びたいところですが…							
第12回	暗号の秘密	インターネットを経由して情報のやり取りを行う場合、悪意のある第三者に情報を盗み見られる危険性を防止するには？							
第13回	素数の秘密	素数とは5や7のように他の数で割り切ることができない数。その素数には何か隠された魅力があるようです。そのなぞが解ける。							
第14回	モンティホール問題	直感的な答えと、きちんと確率論に則って導き出された答えが異なるテレビ番組から生まれた史上最も議論を呼んだ確率問題が解ける。							
第15回	パラドックスを楽しむ	妥当に見える推論のどこに間違いがあるかをクイズとして楽しみ、数学的推論に対する教訓を得る。							
教科書	なし								
参考書									
成績評価	単位認定 参加型の授業で単位を認定する。期末試験は行わない。80%以上の出席が前提。								
履修のポイント									
オフィス・アワー									

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネス英語		担当者	学科	ペット総合科	開講期	半期
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1/2年次	曜日 時限
授業の概要	おもにペットショップでの対応についているいろいろな場面での会話を覚え、授業は簡単な会話を中心としペット分野に必要な表現・用語を併せて覚える。						
学習目的	ペットショップに外国人を迎えたときばかりでなく、多くの場面で国際的なコミュニケーションが必要になっている。トリマーやトレーナー、アドバイザーなどの活躍する場所も今後日本ばかりではなく、海外のペットショップで働いたり、留学したりと多くのステージが考えられる。新しい時代にはばたくために、国際語としての英語を自分のものにする。						
学習目標	単語や文法を覚えるだけでなく、英語でコミュニケーションできるようになる。中学1、2年で学ぶ内容をカバーしながら、英語で基本的なやりとりができる力を身につける。ペットショップに外国人を迎えた時、最低限の意思疎通を図ることができるようになる。さらに海外旅行、留学、ホームステイなど、今後活躍するステージを広げていくために、会話の勉強を続けていくためのきっかけを見つける。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第1回	自己紹介とあいさつ(1)	あらたまった場面ではなく、親しみをこめてあいさつを交わし、会話のきっかけをつくっていく。名前や職業を言う、名前や出身地を尋ねるなどが行える。					
第2回	あいさつ(2)	はじめて会った時、友人とのあいさつ、人や物を紹介できる。友人と別れる時の挨拶の仕方を覚える。					
第3回	あいさつ(3)	人や物の状態・特徴をたずねることができる。元気?だいじょうぶ?などとたずねられる。					
第4回	予約のないお客様を迎える	受付、予約の確認、待ち時間の確認などができる。曜日や日づけ、時間などをたずねたり、答えたりできる。					
第5回	電話予約を受ける	電話で、簡単な用件をたずねたり、伝えたりできる。曜日や日づけ、時間などをたずねたり、答えたりできる。道順や行き方をたずねたり、答えたりできる。品物や値段をたずねたり、答えたりできる。					
第6回	予約のお客様を迎える	あいさつ、予約のチェック、バッグ・コート類を預かる。おもてなしができる。相手の状況を見て声をかけることができる。					
第7回	料金をいただく	お礼をしたり、苦情を言ったりすることができる。					
第8回	カットスタイルの注文をうかがう(カットting1)	欲しいものややりたいことを言うことができる。アドバイスを求めたり、与えたりすることができる。提案したり、提案を求めたりすることができる。					
第9回	カットスタイルの注文をうかがう(カットting2)						
第10回	シャンプー	シャンプーに関する一連の動作、基本表現、被毛に関する用語を覚える。					
第11回	スタイルの注文をうかがう1	スタイルブック、写真などから必要な情報を収集し、カウンセリングができる。					
第12回	スタイルの注文をうかがう2						
第13回	カラーリング (部分的に染める)	カットスタイルについて意見をたずねたり、述べたりできる。細やかなカウンセリングが行え、基本の表現と美容用語を覚える。					
第14回							
第15回	まとめ	シミュレーションによる会話練習。用語・表現の総復習を行う。					
教科書	なし。テキストは毎回配布						
参考書							
成績評価	単位認定 全回出席が前提となる。各回小テスト15点×15、期末試験25点。3回以上の欠席は不可とする。						
履修のポイント							
オフィス・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	イベントプロデュース		担当者		学科	ペット総合科	開講期	半期
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	1 (30)	学年	1/2年次	曜日 時限	
授業の概要	具体的なイベント活動の企画・運営を通して企画力・実行力・協調性など社会人基礎力をつける。							
学習目的	イベントを企画する段階から時間軸のプロセスを経て、「最終的な目的達成」のために最高のパフォーマンスを発揮できるよう、イベントのノウハウや、プランニング方法等を実際のイベント運営を通して、具体的に学び、これからのイベントの方向性を探っていく。							
学習目標	イベントの企画から実際にイベント運営を体験し、制作ノウハウを身につける。 自分達の考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析し、グループワークで各自が役割に対する責務を果たし、チーム全体の力を発揮することができる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	授業ガイダンス		2015年度のイベントについて					
第2回	イベントとは?		イベントの意義について					
第3回	イベントの目的		イベントには、必ず実施する側に明確な「目的」があって、その手段として行える。					
第4回	プランニングと運営について		プランニング（計画生）の重要性と運営について覚える					
第5回	イベント企画会議(1)		実際の行事のの企画会議を実施する。（ほりかわ祭）					
第6回	イベント運営のグループワーク(1)		イベント運営とグループワーク（ほりかわ祭）					
第7回	具体的なイベント運営のシミュレーション(1)		運営シュミレーション（ほりかわ祭）					
第8回	イベント運営の実際(1)		ほりかわ祭について（1）					
第9回	イベントプロデュースの分析と展望（1）		ほりかわ祭について（2）					
第10回	イベント企画会議(2)		実際の行事のの企画会議を実施する。（就職egg）					
第11回	イベント運営のグループワーク(2)		イベント運営とグループワーク(就職egg)					
第12回	具体的なイベント運営のシミュレーション(2)		運営シュミレーション(就職egg)を行う					
第13回	イベント運営の実際(2)		就職eggについて（1）					
第14回	イベントプロデュースの分析と展望（2）		就職eggについて					
第15回	まとめ		まとめ					
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 60点以上 各イベントの参加状況・運営・実施状況にて総合判断							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	企業研究		担当者	学科	ペット総合科	開講期	半期
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	学年	1/2 年次	曜日	時限
1			1 (30)				
授業の概要	前半では、就職を希望するペットショップ・動物病院の調査法、インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、インターンシップに参加する前提として、インターンシップの目的・参加の心構え・ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備を行なう。インターンシップ終了後は、インターンシップを通じて得た知見や経験を体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書が作成できる。（交通費等の費用は原則自己負担）						
学習目的	自分自身の視点から調査・分析出来る能力を身につけ、就職につなげる。自己の職業適性や将来設計について考える機会を得ることにより、高い職業意識の育成を計るとともに、自ら職業選択の明確な基準軸を見つける。						
学習目標	現場などで働きながら実務についての知識や経験を積む実務を行う。報酬はなく、学内の勉強だけでは得られない体験ができ、現場での就業・実務体験を通して、働くことの意義・働くための資質等を理解し、将来の進路選択に資する経験・見識をつかむことができる。また、責任感・時間厳守・守秘義務など社会でのルールとして守るべき事項が認識できる。 ① 自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を持つ。 ② 実社会に触れることによって、学習意欲をつける。 ③ 人間性（思いやり・公共心・倫理観）を高め、基本的な生活習慣を身に付ける。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	業界研究	就職を希望するペットショップ・動物病院に関して、仕事の内容、仕事の条件、その業界内における当該企業の位置づけと将来性はどのようになっているのか等、自分自身の視点から調査・分析					
第2回	実務研修の依頼	就職を希望するペットショップ・動物病院の調査法。インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整					
第3回	実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。					
第4回	実務研修	受入れ事業所で就業体験（実習日誌）					
第5回							
第6回							
第7回							
第8回							
第9回							
第10回							
第11回							
第12回							
第13回							
第14回	インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。					
第15回							
教科書	特にありません						
参考書	特にありません						
成績評価	事前研修及び研修状況（50%）、研修後のレポート及び報告会（50%）で評価する。レポートでは、インターンシップを通じてその業界で活躍するために身につけなければならないことについて報告させる。定期試験は無し						
履修のポイント	インターンシップはキャリア教育科目である。社会人としてのマナーが厳しく問われる。欠席・遅刻、早退は論外である。自覚して臨んでほしい。						
オフィス・アワー							

平成30年度 シラバス

科目名	ボランティア活動		担当者	学科	ペット総合科	開講期	随時
区分	社会人基礎力分野 理論/実習	選択科目	単位 (時間)	学年	1/2年次	曜日	時限
			2 (60)				2
授業の概要	各分野で活動する実践者によるオムニバス方式での講義をとおして、ボランティア活動の価値、意義、役割、実際の活動等について理解を深めた後に、実際にボランティア活動を行う。施設見学や実際のボランティア体験等を行う予定なので、シラバスの変更（施設との調整などにより）が行われることもある。						
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動はもうひとつの信頼を育むコミュニケーションであることを覚える ・ボランティア活動のリスクなどについても学び、専門職として関わることを前提とした学びの視点、実践活動を通じたスキルや知識を覚える ・主体的にボランティアに参加することができる人材になる 						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の基礎を覚え、ボランティア活動に対するイメージを広げる ・ボランティア活動の歴史を知り、現在求められているボランティア活動意義や社会的役割を身につける ・NPOやコミュニティ・ビジネスなど新たな非営利団体の概要を覚える ・身近な課題を解決するボランティア活動について、自らデザインできるようになる ・ボランティアを実際に体験することで、コミュニケーションと共感の大切さを学ぶ 						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1回	講義ガイダンス ボランティア活動とは	ボランティアの理念(無償性, 自主性, 公益性) ボランティア活動の社会的意義					
第2回	ボランティアのタイプと活動パターン	ボランティアはあらゆる分野に及んでいる。ボランティア活動の種類と内容、ボランティアのタイプと活動パターン					
第3回	ボランティア活動におけるリスク管理	ボランティア活動の基本原則 ボランティア活動における自己責任・義務					
第4回	ボランティア活動(外部講師)	実際のボランティア活動の説明・意義・参加について					
第5回	ボランティア活動についてグループディスカッション	実際のボランティア活動に参加するにあたっての、各人の役割・分担、その他事前準備					
第6回							
第7回	ボランティア活動への参加 6月21日(土)						
第8回	骨髓バンク全国大会における 道案内・受付	ボランティア体験(1) (こちらで調整したボランティア活動への参加) ボランティアの日程は、活動団体によって決まるので時期がずれることがある					
第9回							
第10回	ボランティア活動の報告・検討会	ボランティア体験に基づく結果の報告、気づき、等を発表し全員で討議する					
第11回	ボランティア活動計画の作り方	自分が主体的にボランティア活動に参加するために活動計画をつくり、参加の申し込み等アレンジする					
第12回							
第13回	ボランティア活動への参加	ボランティア体験(2) (自分で調整したボランティア活動への参加)					
第14回							
第15回	総括 ボランティア活動の展開	ボランティア成果検討・発表会、各人のボランティアについての考え方等を討議し、今後の展開について話し合う					
教科書	なし						
参考書	岡本 栄一監修：ボランティアのすすめ—基礎から実践まで(ミネルバ書房) 金子 郁容著：ボランティア—もうひとつの情報社会(岩波新書)						
成績評価	講義参加態度及びレポートを基に評価をする。活動実践もあるものは評価対象とする。講義・グループセッション等参加態度等も加味して総合的な評価を行う。意欲的で積極的な参加が望ましい。活動報告書の記載内容は、所定の用紙をあらかじめ配付するが、(1)活動日時・場所・実働時間、(2)活動内容(簡潔に)、(3)活動の自己評価(400字程度)の3項目からなる。						
履修のポイント	出席時間不足のための補習は行なわない。 上記シラバス外の外部外部講師による授業等ボランティア科目として認めるものもある。						
オフィス・アワー	随時						

2018 ペット総合科 シラバス

発行 YIC京都ペット総合専門学校

発行日 平成30年 4月 1日

編集 学校法人京都中央学院

〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町 27 番地

TEL 075-371-4044 FAX 075-343-3821

本便覧の複写および無断転載を禁ずる。